

原 子 力 施 設  
環 境 放 射 線 調 査 報 告 書  
デ ー タ 集

(令和4年度第3四半期報)

青 森 県

# 目 次

[原子燃料サイクル施設]

1. 青森県実施分測定結果	3
(1) 空間放射線量率測定結果	4
① モニタリングステーションによる空間放射線量率(NaI)測定結果	4
(参考)モニタリングステーションによる空間放射線量率(電離箱)測定結果	5
② モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果	6
③ モニタリングカーによる空間放射線量率(NaI)測定結果	7
(2) 積算線量測定結果(RPLD)	8
(3) 大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能測定結果	9
(4) 大気中の気体状 $\beta$ 放射能測定結果(クリプトン-85換算)	10
(5) 大気中のヨウ素-131測定結果	11
(6) 環境試料中の放射能測定結果	12
(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果	16
(8) 大気中の気体状フッ素測定結果	17
(9) 環境試料中のフッ素測定結果	17
(10) 気象観測結果	18
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	18
② 大気安定度出現頻度表	19
③ 風配図	20
2. 事業者実施分測定結果	21
(1) 空間放射線量率測定結果	22
① モニタリングステーションによる空間放射線量率(NaI)測定結果	22
(参考)モニタリングステーションによる空間放射線量率(電離箱)測定結果	23
(2) 積算線量測定結果(RPLD)	24
(3) 大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能測定結果	25
(4) 大気中の気体状 $\beta$ 放射能測定結果(クリプトン-85換算)	26
(5) 大気中のヨウ素-131測定結果	27
(6) 環境試料中の放射能測定結果	28
(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果	30
(8) 大気中の気体状フッ素測定結果	31
(9) 環境試料中のフッ素測定結果	32
(10) 気象観測結果	33
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	33
② 大気安定度出現頻度表	34
③ 風配図	35

3. 参考図表	37
(1) 河底土中の放射能濃度の推移	38
(2) 湖底土中の放射能濃度の推移	39
(3) 表土中の放射能濃度の推移	40
(4) 海底土中の放射能濃度の推移	40

[東通原子力発電所]

1. 青森県実施分測定結果	43
(1) 空間放射線量率測定結果	44
①モニタリングステーションによる空間放射線量率(NaI)測定結果	44
②モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果	45
(2) 積算線量測定結果(RPLD)	46
(3) 大気浮遊じん中の全 $\beta$ 放射能測定結果	47
(4) 大気中のヨウ素-131測定結果	47
(5) 環境試料中の放射能測定結果	48
(6) 気象観測結果	50
①風速・気温・湿度・降水量・積雪深	50
②大気安定度出現頻度表	52
③風配図	53
2. 事業者実施分測定結果	55
(1) 空間放射線量率測定結果	56
①モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果	56
(2) 積算線量測定結果(RPLD)	57
(3) 環境試料中の放射能測定結果	58
(4) 気象観測結果	60
①降水量・積雪深	60
3. 参考図表	61
(1) 大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 放射能濃度及び全 $\beta$ 放射能濃度の相関	62
(2) 表土中の放射能濃度の推移	63
(3) 海底土中の放射能濃度の推移	63

[リサイクル燃料備蓄センター]

1. 青森県実施分測定結果 .....	67
(1) 空間放射線量率測定結果 .....	68
① モニタリングポストによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果 .....	68
(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果 .....	68
(2) 積算線量測定結果 (RPLD) .....	69
(3) 環境試料中の放射能測定結果 .....	69
(4) 気象観測結果 .....	69
① 降水量・積雪深 .....	69
2. 事業者実施分測定結果 .....	71
(1) 空間放射線量率測定結果 .....	72
① モニタリングポストによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果 .....	72
(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果 .....	72
(2) 積算線量測定結果 (RPLD) .....	73
(3) 環境試料中の放射能測定結果 .....	73
(4) 気象観測結果 .....	73
① 降水量・積雪深 .....	73
3. 参考図表 .....	75
(1) 表土中の放射能濃度の推移 .....	76

[周辺監視区域内測定結果]

原子燃料サイクル施設 .....	78
1. モニタリングポスト測定結果 .....	79
(1) 再処理事業所モニタリングポスト測定結果 .....	79
(2) 濃縮・埋設事業所モニタリングポスト測定結果 .....	81
2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果 .....	82
3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果 .....	83
4. 気象観測結果 .....	85
東通原子力発電所 .....	87
1. モニタリングポスト測定結果 .....	88
2. 排気筒モニタ測定結果 .....	89
3. 放水口モニタ測定結果 .....	89
4. 気象観測結果 .....	90

## 記号の解説

「ND」

定量下限値未満を示す。分析室等で実施する環境試料中放射性核種の分析測定については、測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・核種ごとに定量下限値を定めている。

「\*」

検出限界以下を示す。モニタリングステーションにおいて自動的に採取・測定している大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、測定値が計数誤差の3倍以下の場合を検出限界以下としている。

「-」

モニタリング対象外を示す。

「△」

今四半期分析対象外を示す。

## 核種等の記号及び名称

$^3\text{H}$ , H-3	: トリチウム	$^{144}\text{Ce}$ , Ce-144	: セリウム-144
$^7\text{Be}$ , Be-7	: ベリリウム-7	$^{154}\text{Eu}$ , Eu-154	: ユロピウム-154
$^{14}\text{C}$ , C-14	: 炭素-14	$^{214}\text{Bi}$ , Bi-214	: ビスマス-214
$^{40}\text{K}$ , K-40	: カリウム-40	$^{228}\text{Ac}$ , Ac-228	: アクチニウム-228
$^{51}\text{Cr}$ , Cr-51	: クロム-51	U	: ウラン
$^{54}\text{Mn}$ , Mn-54	: マンガン-54	$^{234}\text{U}$ , U-234	: ウラン-234
$^{59}\text{Fe}$ , Fe-59	: 鉄-59	$^{235}\text{U}$ , U-235	: ウラン-235
$^{58}\text{Co}$ , Co-58	: コバルト-58	$^{238}\text{U}$ , U-238	: ウラン-238
$^{60}\text{Co}$ , Co-60	: コバルト-60	$^{238}\text{Pu}$ , Pu-238	: プルトニウム-238
$^{65}\text{Zn}$ , Zn-65	: 亜鉛-65	$^{239+240}\text{Pu}$ , Pu-239+240	: プルトニウム-239+240
$^{85}\text{Kr}$ , Kr-85	: クリプトン-85	$^{241}\text{Pu}$ , Pu-241	: プルトニウム-241
$^{90}\text{Sr}$ , Sr-90	: スロンチウム-90	$^{241}\text{Am}$ , Am-241	: アメリシウム-241
$^{95}\text{Zr}$ , Zr-95	: ジルコニウム-95	$^{244}\text{Cm}$ , Cm-244	: キュリウム-244
$^{95}\text{Nb}$ , Nb-95	: ニオブ-95		
$^{103}\text{Ru}$ , Ru-103	: ルテニウム-103	Pu( $\alpha$ )	: アルファ線を放出する プルトニウム
$^{106}\text{Ru}$ , Ru-106	: ルテニウム-106	Am( $\alpha$ )	: アルファ線を放出する アメリシウム
$^{125}\text{Sb}$ , Sb-125	: アンチモン-125	Cm( $\alpha$ )	: アルファ線を放出する キュリウム
$^{129}\text{I}$ , I-129	: ヨウ素-129		
$^{131}\text{I}$ , I-131	: ヨウ素-131		
$^{134}\text{Cs}$ , Cs-134	: セシウム-134		
$^{137}\text{Cs}$ , Cs-137	: セシウム-137		
$^{140}\text{Ba}$ , Ba-140	: バリウム-140		
$^{140}\text{La}$ , La-140	: ランタン-140		
		F	: フッ素



# 原子燃料サイクル施設





## 1. 青森県実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

①モニタリングステーションによる空間放射線量率(NaI)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
尾駸	10月	23	41	22	2.7	4	0	4	6~38 (22±16)	6~88	11~88 (23)	
	11月	25	62	21	4.7	15	0	15				
	12月	24	64	14	7.1	36	0	36				
	第3四半期	24	64	14	5.2	55	0	55				
千歳平	10月	24	41	22	2.5	5	0	5	8~38 (23±15)	8~73	11~73 (24)	
	11月	25	59	23	3.9	7	0	7				
	12月	24	66	15	6.5	26	0	26				
	第3四半期	24	66	15	4.6	38	0	38				
平沼	10月	22	54	20	2.7	6	0	6	7~33 (20±13)	9~74	11~74 (22)	
	11月	23	42	20	3.2	15	0	15				
	12月	22	65	15	6.0	38	0	38				
	第3四半期	22	65	15	4.3	59	0	59				
泊	10月	22	43	20	3.8	13	0	13	4~38 (21±17)	6~91	11~91 (23)	
	11月	24	54	20	4.9	21	0	21				
	12月	24	65	14	7.2	38	0	38				
	第3四半期	23	65	14	5.5	72	0	72				
吹越	10月	22	45	20	2.7	18	0	18	12~32 (22±10)	13~66	16~62 (24)	
	11月	23	44	21	3.6	33	0	33				
	12月	23	60	18	4.7	41	0	41				
	第3四半期	23	60	18	3.8	92	0	92				
比較 対照 (青森市)	10月	28	48	26	2.4	6	0	6	13~41 (27±14)	13~75	17~75 (29)	
	11月	29	52	26	4.1	18	0	18				
	12月	28	68	20	5.9	27	0	27				
	第3四半期	28	68	20	4.4	51	0	51				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29~令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。  
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(参考)モニタリングステーションによる空間放射線量率(電離箱)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
尾駁	10月	61	78	58	2.5	
	11月	63	96	59	4.2	
	12月	62	97	53	6.2	
	第3四半期	62	97	53	4.6	
千歳平	10月	68	83	65	2.3	
	11月	69	100	65	3.5	
	12月	69	106	61	5.7	
	第3四半期	69	106	61	4.2	
平沼	10月	63	91	60	2.5	
	11月	64	81	61	3.0	
	12月	64	103	56	5.5	
	第3四半期	64	103	56	4.0	
泊	10月	62	80	59	3.3	
	11月	63	90	59	4.3	
	12月	63	99	54	6.3	
	第3四半期	63	99	54	4.8	
吹越	10月	73	94	70	2.6	
	11月	76	95	71	3.5	
	12月	77	109	72	4.5	
	第3四半期	75	109	70	4.0	

・測定値は1時間値。

・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含む。

②モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
横浜町役場	10月	21	52	19	3.2	21	0	21	12~30 (21±9)	16~80	17~80 (22)	
	11月	22	38	19	3.3	36	0	36				
	12月	22	52	17	5.0	54	0	54				
	第3四半期	22	52	17	4.0	111	0	111				
野辺地	10月	32	39	30	1.2	0	0	0	23~41 (32±9)	21~80	22~80 (33)	
	11月	33	57	31	2.6	17	0	17				
	12月	33	74	27	5.0	45	0	45				
	第3四半期	33	74	27	3.4	62	0	62				
砂子又	10月	21	69	20	3.6	14	0	14	9~33 (21±12)	12~69	15~69 (22)	
	11月	22	42	20	3.2	12	0	12				
	12月	22	72	15	6.9	44	0	44				
	第3四半期	22	72	15	4.9	70	0	70				
東北町役場	10月	21	40	18	2.6	8	0	8	10~32 (21±11)	13~75	14~75 (22)	
	11月	22	40	18	3.3	20	0	20				
	12月	22	77	16	6.4	44	0	44				
	第3四半期	21	77	16	4.5	72	0	72				
東北分庁舎	10月	20	42	18	2.5	8	0	8	10~32 (21±11)	13~68	13~68 (22)	
	11月	21	46	18	3.2	13	0	13				
	12月	21	76	13	7.1	42	0	42				
	第3四半期	21	76	13	4.7	63	0	63				
三沢市役所	10月	22	43	19	3.1	25	0	25	11~31 (21±10)	13~69	14~69 (22)	
	11月	22	41	20	2.9	19	0	19				
	12月	22	60	17	4.3	20	0	20				
	第3四半期	22	60	17	3.5	64	0	64				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29~令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。
- また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

③モニタリングカーによる空間放射線量率(NaI)測定結果

ア 定点測定

測定地点		測定年月日	測定値 (nGy/h)	積雪深 (cm)	備考
六ヶ所村	石川	R4.11.21	16	0	
	出戸	〃	18	0	
	老部川	〃	14	0	
	尾駱	〃	15	0	
	沖付	〃	13	0	
	新納屋	〃	13	0	
	新栄	〃	17	0	
	市柳沼東畔	〃	16	0	
	八森	〃	16	0	
	六原	〃	16	0	
	笹崎	〃	21	0	
	千歳平	〃	18	0	
	豊原	R4.11.25	17	0	
	千樽	〃	16	0	
	尾駱沼南畔	R4.11.21	16	0	
	弥栄平	〃	19	0	
清掃センター	〃	18	0		
富ノ沢	R4.11.25	17	0		
横浜町	第一明神平	R4.11.25	18	0	
	第二明神平	〃	13	0	
	はまなす公園	〃	13	0	
野辺地町	上目ノ越	R4.11.25	17	0	
	北砂沼	〃	13	0	
青森市	比較対照 (青森市)	R4.11.25	19	0	

- ・測定値は10分値。
- ・降雨雪のない状況で測定。

イ 走行測定

走行ルート	測定年月日	測定値の範囲 (nGy/h)	備考
ルートA(千歳～平沼)	R4.11.21	17 ～ 23	
ルートB(平沼～石川)	〃	13 ～ 21	
ルートC(猿子沢～新納屋)	〃	13 ～ 22	
ルートD(尾駱～中吹越)	〃	14 ～ 20	
ルートE(中吹越～目ノ越)	〃	14 ～ 18	
ルートF(目ノ越～室ノ久保)	〃	13 ～ 18	
ルートG(二又～上弥栄)	〃	15 ～ 19	
ルートH(森の踏切～沖付)	〃	14 ～ 23	
ルートI(弥栄平～千歳)	〃	15 ～ 23	

- ・測定値は500 m毎の平均値。
- ・降雨雪のない状況で測定。

(2) 積算線量測定結果(RPLD)

測定地点		測定期間(日数)	3か月積算線量 ( $\mu$ Gy/91日)	平常の変動幅 ( $\mu$ Gy/91日)	備考
六ヶ所村	尾駸	R4. 9.22~R4.12.22 (91)	95	78 ~ 104	
	千歳平	〃	96	81 ~ 106	
	平沼	〃	94	82 ~ 103	
	泊	〃	93	78 ~ 99	
	出戸	〃	85	73 ~ 88	
	老部川	〃	91	78 ~ 95	
	富ノ沢	〃	102	83 ~ 105	
	二又	〃	93	84 ~ 98	
	むつ小川原石油備蓄	〃	94	81 ~ 96	
	室ノ久保	〃	95	79 ~ 99	
	六原	〃	103	88 ~ 104	
	倉内	〃	91	79 ~ 95	
横浜町	吹越	〃	90	82 ~ 94	
	明神平	〃	111	83 ~ 115	
	横浜町役場	〃	99	98 ~ 104	
野辺地町	有戸	〃	104	91 ~ 108	
	野辺地	〃	107	97 ~ 112	
東通村	白糠	〃	88	— ※	
東北町	西公園 (東北分庁舎)	〃	89	79 ~ 91	
	水喰	〃	93	75 ~ 97	
	淋代	〃	100	75 ~ 105	
	東北町役場	〃	94	90 ~ 99	
三沢市	三沢市役所	〃	108	98 ~ 111	
青森市	比較対照(青森市)	〃	103	86 ~ 108	

- ・測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
  - ・「3か月積算線量」は測定期間の測定値を91日あたりに換算し整数で示した値。
  - ・「平常の変動幅」は平成29～令和3年度の3か月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。
- ※ 白糠については、令和3年度第4四半期の測定終了後に測定場所を移動しているため、平常の変動幅を設定していない。

(3) 大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能測定結果(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

測定局	採取期間	検体数	全 $\alpha$			全 $\beta$			備考
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	
尾駁	R4.10.3~R4.10.31	4	0.044	0.072	0.021	0.73	0.97	0.45	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.056	0.083	0.036	0.99	1.2	0.80	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.026	0.030	*	0.62	0.76	0.42	
	第3四半期	13	< 0.041	0.083	*	0.77	1.2	0.42	
千歳平	R4.10.3~R4.10.31	4	0.052	0.077	0.036	0.72	0.87	0.46	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.048	0.056	0.043	1.0	1.3	0.75	
	R4.11.28~R5.1.2	5	0.039	0.050	0.024	0.67	0.77	0.52	
	第3四半期	13	0.046	0.077	0.024	0.80	1.3	0.46	
平沼	R4.10.3~R4.10.31	4	0.051	0.065	0.033	0.70	0.87	0.43	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.064	0.072	0.048	0.93	1.1	0.78	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.024	0.037	*	0.57	0.73	0.39	
	第3四半期	13	< 0.044	0.072	*	0.72	1.1	0.39	
泊	R4.10.3~R4.10.31	4	0.032	0.051	0.018	0.72	0.90	0.49	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.041	0.055	0.024	1.0	1.3	0.77	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.024	0.033	*	0.63	0.79	0.44	
	第3四半期	13	< 0.032	0.055	*	0.78	1.3	0.44	
吹越	R4.10.3~R4.10.31	4	0.054	0.090	0.034	0.74	0.86	0.48	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.044	0.048	0.037	1.0	1.3	0.75	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.025	0.036	*	0.63	0.80	0.44	
	第3四半期	13	< 0.039	0.090	*	0.78	1.3	0.44	
比較対照 (青森市)	R4.10.3~R4.10.31	4	0.049	0.075	0.025	0.67	0.81	0.41	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.060	0.080	0.049	1.0	1.3	0.81	
	R4.11.28~R5.1.2	5	0.026	0.033	0.019	0.59	0.68	0.48	
	第3四半期	13	0.043	0.080	0.019	0.75	1.3	0.41	

・168時間集じん終了後72時間放置、1時間測定。

・平均値の算出においては測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、その時の検出限界値を測定値として算出し平均値に「<」を付ける。すべての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「\*」と表示する。

## (4) 大気中の気体状β放射能測定結果(クリプトン-85換算)

(単位:kBq/m<sup>3</sup>)

測定局	測定月	平均	最大	最小	備考
尾駁	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
千歳平	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
平沼	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
泊	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
吹越	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
比較対照 (青森市)	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	

・測定値は1時間値。

・測定時間数は3か月間で約2,200時間。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。



## (5) 大気中のヨウ素-131測定結果

(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

測定局	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
尾駸	R4.10. 3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5. 1. 4	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
千歳平	R4.10. 3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5. 1. 4	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
平沼	R4.10. 3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5. 1. 4	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
泊	R4.10. 3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5. 1. 4	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
吹越	R4.10. 3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5. 1. 4	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
比較対照 (青森市)	R4.10. 3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5. 1. 4	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	

- ・測定値は試料採取日に補正した値。
- ・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。

(6)環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析										
				<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>106</sup> Ru	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	<sup>154</sup> Eu	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac
大気浮遊じん	尾駈	R4.10.3~ R5.1.2	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	ND	—	—
	千歳平	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	ND	—	—
	平沼	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	ND	—	—
	泊	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.6	ND	—	—
	横浜町	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	ND	—	—
	比較対照 (青森市)	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	ND	—	—
雨水	千歳平	R4.9.30~ R4.10.31	Bq/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		R4.10.31~ R4.11.30		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		R4.11.30~ R4.12.28		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
降下物	千歳平	R4.9.30~ R4.10.31	Bq/m <sup>2</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	ND	—	—
		R4.10.31~ R4.11.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	160	ND	—	—	
		R4.11.30~ R4.12.28		ND	ND	ND	ND	ND	ND	490	ND	—	—	
河川水	老部川 上流	R4.10.19	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
	老部川 下流	R4.10.19		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
湖沼水	尾駈沼	R4.10.5	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	尾駈沼	R4.12.12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	鷹架沼	R4.10.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	小川原湖	R4.10.14		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	460	—	—
水道水	尾駈	R4.10.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
井戸水	尾駈	R4.10.21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	180	—	—	
河底土	老部川 上流	R4.10.19	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	4	ND	ND	ND	130	ND	ND
	老部川 下流	R4.10.19		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	ND	ND
湖底土	尾駈沼	R4.10.5	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	280	ND	ND
	鷹架沼	R4.10.18		ND	ND	ND	ND	7	ND	ND	ND	220	ND	ND
	小川原湖	R4.10.14		ND	ND	ND	ND	5	ND	ND	ND	170	ND	ND
牛乳(原乳)	二又	R4.10.12	Bq/L <sup>14</sup> Cに ついては 上:Bq/L 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—
	庄内	R4.10.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—
	横浜町	R4.10.12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—
	東北町	R4.10.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	53	—	—

放射化学分析									備考
<sup>3</sup> H	<sup>14</sup> C	<sup>90</sup> Sr	<sup>129</sup> I	<sup>238</sup> Pu	<sup>239+240</sup> Pu	<sup>241</sup> Am	<sup>244</sup> Cm	U	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	0.0004	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	
ND	—	ND	—	—	—	—	—	—	塩分 19
ND	—	ND	—	—	—	—	—	—	塩分 17
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	塩分 10
ND	—	—	—	—	—	—	—	—	(海水の塩分は約35)
ND	—	ND	—	—	—	—	—	—	
ND	—	ND	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	0.61	0.29	ND	130	
—	—	ND	—	ND	0.52	0.21	ND	92	
—	—	ND	—	ND	0.28	0.13	ND	—	
—	<sup>13</sup> 0.23	ND	—	—	—	—	—	ND	
—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	
—	<sup>14</sup> 0.23	ND	—	—	—	—	—	—	
—	—	ND	—	—	—	—	—	—	

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析										
				<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>106</sup> Ru	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	<sup>154</sup> Eu	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac
精米	室ノ久保	R4.10.1	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	28	—	—
	千樽	R4.10.7		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	26	—	—	
	野辺地町	R4.9.26		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	27	—	—	
	比較対照 (青森市)	R4.10.9		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
ハクサイ	倉内	R4.10.31	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	57	—	—	
ナガイモ	東北町	R4.11.21		ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—		
キャベツ	横浜町	R4.10.31		ND	ND	ND	ND	ND	ND	56	—	—		
ワカサギ	尾駸沼	R4.11.9	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	—	—	
シジミ	小川原湖			ND	ND	ND	ND	ND	ND	6	—	—		
松葉	尾駸	R4.10.13	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	78	68	—	—	
	比較対照 (青森市)	R4.10.20		ND	ND	ND	ND	ND	ND	91	77	—	—	
海水	放出口 付近	R4.10.14	mBq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
	放出口 北20km 地点	R4.10.14	トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
	放出口 南20km 地点	R4.10.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
海底土	放出口 付近	R4.10.14	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	250	ND	ND	
	放出口 北20km 地点	R4.10.14		ND	ND	ND	ND	ND	ND	150	ND	ND		
	放出口 南20km 地点	R4.10.14		ND	ND	ND	ND	ND	ND	190	ND	ND		
魚類 (ヒラメ)	六ヶ所村 前面海域	R4.11.9	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	—	—		
海藻類 (コンブ)	六ヶ所村 前面海域	R4.11.9	トリチウム については 上:Bq/kg生 下:Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	400	—	—		
海藻類 (チガイソ)	六ヶ所村 前面海域	欠測		欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測	—	—		

- Uは、<sup>234</sup>U、<sup>235</sup>U及び<sup>238</sup>Uの合計。
- 機器分析によるγ線放出核種、<sup>3</sup>H及び<sup>90</sup>Srの測定値は試料採取日に補正した値。
- ヒラメ(六ヶ所村前面海域)は東通原子力発電所環境放射線調査試料を兼ねる。
- チガイソ(六ヶ所村前面海域)については、不漁により採取できなかったため欠測とした。

放射化学分析									備考
<sup>3</sup> H	<sup>14</sup> C	<sup>90</sup> Sr	<sup>129</sup> I	<sup>238</sup> Pu	<sup>239+240</sup> Pu	<sup>241</sup> Am	<sup>244</sup> Cm	U	
—	85 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	87 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	86 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	85 0.22	—	—	—	—	—	—	—	
—	3 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	17 0.23	0.05	—	ND	ND	—	—	—	
—	6 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	0.03	
—	—	—	—	—	—	—	—	0.02	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	0.55	0.23	ND	—	
—	—	ND	—	ND	0.24	0.13	ND	—	
—	—	ND	—	ND	0.22	0.08	ND	—	
ND ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	0.002	—	—	—	
—	—	欠測	—	欠測	欠測	—	—	—	

(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果

測定地点	採取期間	測定値		大気中水分量 (g/m <sup>3</sup> )	備考
		大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	水分中濃度 (Bq/L)		
尾駁	R4. 9.30 ~ R4.10.31	ND	ND	9.0	
	R4.10.31 ~ R4.11.30	ND	ND	6.3	
	R4.11.30 ~ R4.12.28	ND	ND	3.9	
横浜町	R4. 9.30 ~ R4.10.31	ND	ND	9.1	
	R4.10.31 ~ R4.11.30	ND	ND	6.3	
	R4.11.30 ~ R4.12.28	ND	ND	4.0	
比較対照 (青森市)	R4. 9.30 ~ R4.10.31	ND	ND	8.5	
	R4.10.31 ~ R4.11.30	ND	ND	6.1	
	R4.11.30 ~ R4.12.28	ND	ND	4.1	

・測定値は試料採取日に補正した値。

## (8) 大気中の気体状フッ素測定結果

(単位:ppb)

測定局	測定月	平均	最大	最小	備考
尾駁	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
比較対照 (青森市)	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	

## (9) 環境試料中のフッ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値	備考
大気	尾駁	R4.10.14～ R4.10.21	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ND	
	比較対照 (青森市)	R4.10.7～ R4.10.14		ND	
河川水	老部川上流	R4.10.19	mg/L	ND	
	老部川下流	R4.10.19		ND	
湖沼水	尾駁沼	R4.10.5	0.6	塩分 19	
	尾駁沼	R4.12.12	0.5	塩分 17	
	鷹架沼	R4.10.18	0.3	塩分 10 (海水の塩分は約35)	
河底土	老部川上流	R4.10.19	mg/kg乾	88	
	老部川下流	R4.10.19		70	
湖底土	尾駁沼	R4.10.5	180		
	鷹架沼	R4.10.18	110		
牛乳(原乳)	二又	R4.10.12	mg/L	ND	
	庄内	R4.10.17		ND	
精米	室ノ久保	R4.10.1	mg/kg生	ND	

・「大気」の測定値は粒子状フッ素及び気体状フッ素の合計。

(10) 気象観測結果

① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(°C)			湿度(%)		降水量(mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
尾駁	10月	2.2	7.4	13.8	26.2	2.3	76	43	69.0	0	0	0	0	0
	11月	2.1	9.0	8.6	18.8	-1.4	77	35	129.5	0	0	0	1	27
	12月	3.3	9.1	1.3	8.7	-4.3	77	44	196.0	11	44	0	17	86
	第3四半期	2.5	9.1	7.8	26.2	-4.3	76	35	394.5	4	44	0	6	86
千歳平	10月	2.1	7.7	13.5	26.3	3.6	80	41	77.5	0	0	0	0	0
	11月	2.2	7.6	8.4	18.6	-0.8	79	38	84.0	0	3	0	1	31
	12月	2.9	7.9	0.7	8.3	-5.3	83	46	169.5	18	61	0	25	111
	第3四半期	2.4	7.9	7.5	26.3	-5.3	81	38	331.0	6	61	0	9	111
平沼	10月	—	—	—	—	—	—	—	70.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	57.5	0	0	0	0	14
	12月	—	—	—	—	—	—	—	111.5	8	42	0	11	89
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	239.5	3	42	0	4	89
泊	10月	—	—	—	—	—	—	—	128.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	140.5	0	0	0	0	17
	12月	—	—	—	—	—	—	—	206.0	6	36	0	9	80
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	474.5	2	36	0	3	80
吹越	10月	—	—	—	—	—	—	—	80.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	95.0	0	0	0	0	12
	12月	—	—	—	—	—	—	—	77.0	2	11	0	5	40
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	252.5	1	11	0	2	40
比較 対照 (青森市)	10月	—	—	—	—	—	—	—	73.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	140.0	0	2	0	0	25
	12月	—	—	—	—	—	—	—	213.5	14	45	0	15	92
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	427.0	5	45	0	5	92

・測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成29～令和3年度)の同一時期の平均値及び最大値。



②大気安定度出現頻度表

単位:時間(括弧内は%)

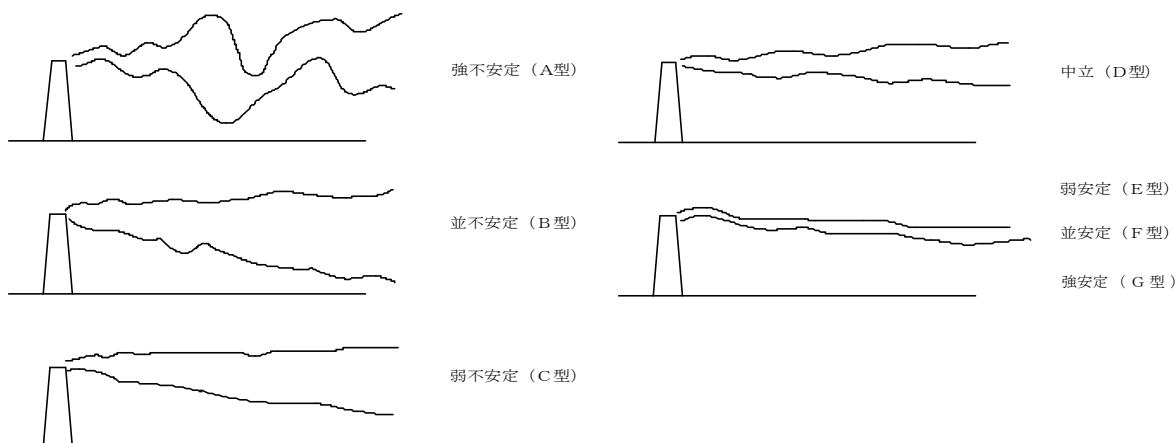
測定局	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
尾駸	10月	3 (0.4)	38 (5.2)	64 (8.7)	19 (2.6)	34 (4.6)	12 (1.6)	336 (45.8)	25 (3.4)	21 (2.9)	181 (24.7)	733 (100)	
	11月	1 (0.1)	15 (2.1)	39 (5.4)	23 (3.2)	25 (3.5)	10 (1.4)	378 (52.5)	20 (2.8)	22 (3.1)	187 (26.0)	720 (100)	
	12月	0 (0.0)	4 (0.5)	24 (3.2)	8 (1.1)	20 (2.7)	16 (2.2)	543 (73.0)	24 (3.2)	20 (2.7)	85 (11.4)	744 (100)	
	第3 四半期	4 (0.2)	57 (2.6)	127 (5.8)	50 (2.3)	79 (3.6)	38 (1.7)	1,257 (57.2)	69 (3.1)	63 (2.9)	453 (20.6)	2,197 (100)	
千歳平	10月	2 (0.3)	49 (6.6)	61 (8.3)	21 (2.8)	42 (5.7)	18 (2.4)	254 (34.5)	40 (5.4)	49 (6.6)	201 (27.3)	737 (100)	
	11月	1 (0.1)	19 (2.7)	54 (7.6)	19 (2.7)	22 (3.1)	19 (2.7)	275 (38.6)	44 (6.2)	43 (6.0)	216 (30.3)	712 (100)	
	12月	0 (0.0)	8 (1.1)	23 (3.1)	15 (2.0)	32 (4.3)	13 (1.8)	477 (64.3)	61 (8.2)	36 (4.9)	77 (10.4)	742 (100)	
	第3 四半期	3 (0.1)	76 (3.5)	138 (6.3)	55 (2.5)	96 (4.4)	50 (2.3)	1,006 (45.9)	145 (6.6)	128 (5.8)	494 (22.5)	2,191 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)」に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

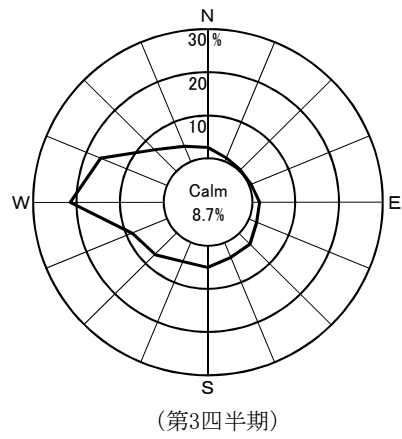
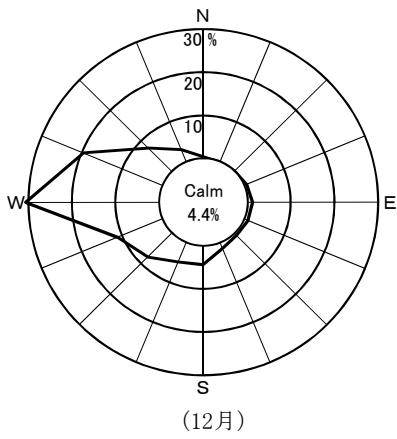
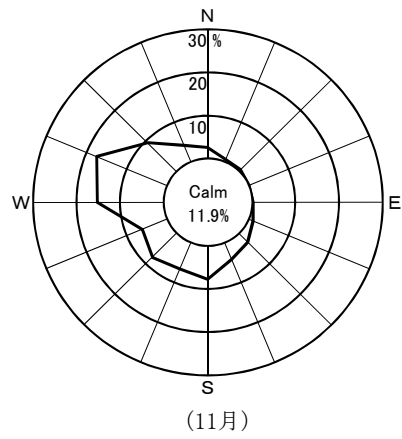
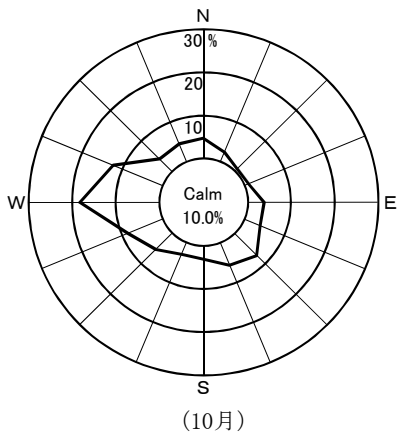
風速(U) m/s	日射量(T) kW/m <sup>2</sup>				放射収支量(Q) kW/m <sup>2</sup>		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)

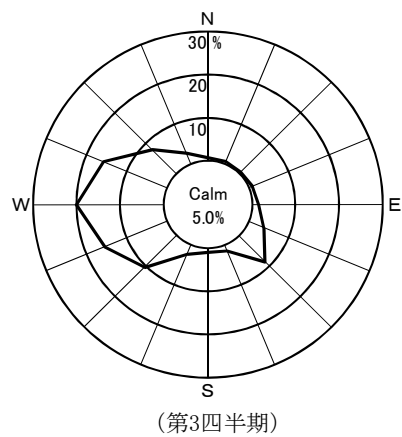
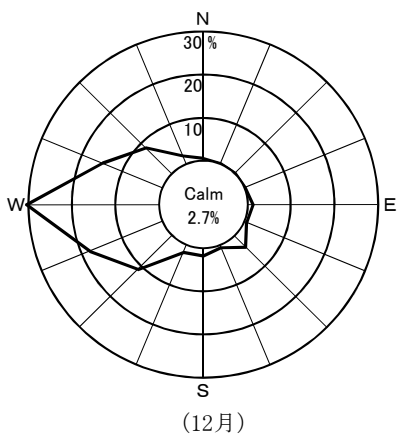
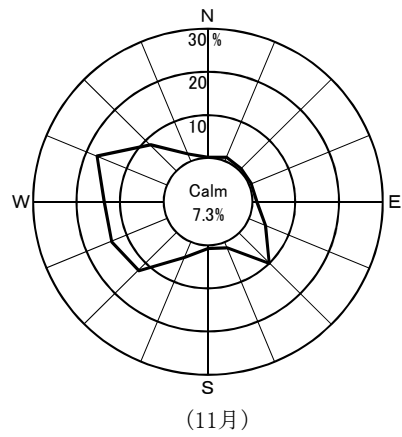
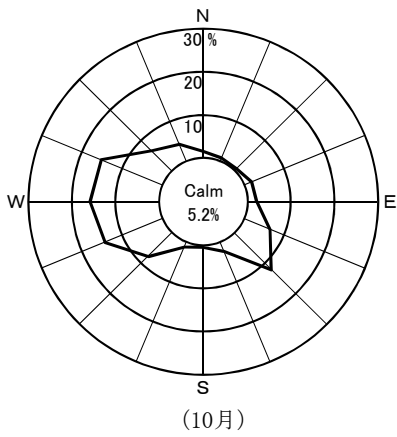


大気安定度と煙の型との模式図

③ 風配図  
尾駁



千歳平



Calm: 風速0.5 m/sec未満

## 2. 事業者実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

①モニタリングステーションによる空間放射線量率(NaI)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数(単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
老部川	10月	21	39	19	2.5	8	0	8	8~32 (20±12)	8~66	11~64 (21)	
	11月	22	49	19	4.0	20	0	20				
	12月	21	55	14	5.1	35	0	35				
	第3四半期	21	55	14	4.0	63	0	63				
二又	10月	22	43	20	2.8	12	0	12	7~35 (21±14)	9~80	13~80 (23)	
	11月	24	63	19	4.7	24	0	24				
	12月	23	60	16	5.7	33	0	33				
	第3四半期	23	63	16	4.6	69	0	69				
室ノ久保	10月	21	36	20	2.2	11	0	11	9~31 (20±11)	10~85	13~85 (22)	
	11月	22	46	20	3.4	17	0	17				
	12月	22	56	16	5.3	48	0	48				
	第3四半期	22	56	16	3.9	76	0	76				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29～令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。  
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

## (参考)モニタリングステーションによる空間放射線量率(電離箱)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
老部川	10月	55	72	52	2.6	
	11月	56	86	53	4.0	
	12月	56	93	49	5.2	
	第3四半期	56	93	49	4.2	
二又	10月	56	78	53	3.0	
	11月	58	97	54	4.6	
	12月	57	93	50	5.8	
	第3四半期	57	97	50	4.7	
室ノ久保	10月	52	67	50	2.2	
	11月	54	77	50	3.3	
	12月	54	84	48	5.1	
	第3四半期	53	84	48	3.8	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含む。

(2)積算線量測定結果(RPLD)

測定地点		測定期間 (日数)	3か月積算線量 ( $\mu$ Gy/91日)	平常の変動幅 ( $\mu$ Gy/91日)	備考
六ヶ所村	老 部 川	R4. 9.22~R4.12.22 (91)	84	74 ~ 89	
	二 又	〃	90	77 ~ 94	
	室 ノ 久 保	〃	90	77 ~ 93	
	石 川	〃	98	80 ~ 102	
	新 町	〃	102	81 ~ 107	
	大 石 平	〃	102	78 ~ 106	
	富 ノ 沢	〃	96	80 ~ 100	
	雲 雀 平	〃	95	87 ~ 99	
	むつ小川原石油備蓄	〃	90	78 ~ 93	
	千 樽	〃	95	77 ~ 98	
	豊 原	〃	92	74 ~ 96	
	千 歳 平	〃	90	77 ~ 93	
六 原	〃	97	85 ~ 99		

- ・測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
- ・「3か月積算線量」は測定期間の測定値を91日あたりに換算し整数で示した値。
- ・「平常の変動幅」は平成29～令和3年度の3か月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。

(3)大気浮遊じん中の全 $\alpha$ 及び全 $\beta$ 放射能測定結果(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

測定局	採取期間	検体数	全 $\alpha$			全 $\beta$			備考
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	
老部川	R4.10.3~R4.10.31	4	0.045	0.067	0.031	0.43	0.48	0.31	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.052	0.056	0.042	0.55	0.63	0.45	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.028	0.036	*	0.33	0.45	0.19	
	第3四半期	13	< 0.040	0.067	*	0.43	0.63	0.19	
二又	R4.10.3~R4.10.31	4	0.093	0.13	0.059	0.40	0.48	0.27	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.081	0.10	0.043	0.59	0.64	0.44	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.037	0.051	*	0.31	0.36	0.25	
	第3四半期	13	< 0.068	0.13	*	0.42	0.64	0.25	
室ノ久保	R4.10.3~R4.10.31	4	0.057	0.077	0.046	0.39	0.51	0.27	
	R4.10.31~R4.11.28	4	0.052	0.063	0.037	0.55	0.64	0.48	
	R4.11.28~R5.1.2	5	< 0.025	0.030	*	0.32	0.46	0.17	
	第3四半期	13	< 0.043	0.077	*	0.41	0.64	0.17	

- ・168時間集じん終了後72時間放置、1時間測定。
- ・平均値の算出においては測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「\*」と表示する。

(4)大気中の気体状β放射能測定結果(クリプトン-85換算) (単位:kBq/m<sup>3</sup>)

測定局	測定月	平均	最大	最小	備考
老部川	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
二又	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
室ノ久保	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、全ての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。



## (5)大気中のヨウ素-131測定結果

(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

測定局	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
老 部 川	R4.10.3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5.1.4	5	ND	ND	ND	
	第 3 四 半 期	13	ND	ND	ND	
二 又	R4.10.3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5.1.4	5	ND	ND	ND	
	第 3 四 半 期	13	ND	ND	ND	
室ノ久保	R4.10.3 ~ R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31 ~ R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28 ~ R5.1.4	5	ND	ND	ND	
	第 3 四 半 期	13	ND	ND	ND	

・測定値は、試料採取日に補正した値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と表示する。

(6)環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析										
				<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>106</sup> Ru	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce	<sup>154</sup> Eu	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac
大気浮遊じん	老部川	R4.10.3~ R5.1.2	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.7	ND	—	—
	二又	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND	—	—	
	室ノ久保	R4.10.3~ R5.1.2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.4	ND	—	—	
湖沼水	尾駁沼1	R4.10.18	mBq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
	尾駁沼1	R4.12.7		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
	尾駁沼2	R4.10.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
	尾駁沼2	R4.12.7		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
水道水	尾駁	R4.10.12	トリウムについては Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—		
	千歳平	R4.10.12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—			
	平沼	R4.10.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—			
	二又	R4.10.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—			
井戸水	尾駁1	R4.10.19	mBq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	180	—	—		
	尾駁2	R4.10.21		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—			
湖底土	尾駁沼	R4.10.18	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	280	ND	ND		
牛乳(原乳)	豊原	R4.10.11	Bq/L <sup>14</sup> Cについては 上:Bq/L 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—		
	六原	R4.10.11		ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—		
精米	二又	R4.10.9	Bq/kg生 <sup>14</sup> Cについては 上:Bq/kg生 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	—	—		
	戸鎖	R4.10.3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	—	—		
	平沼	R4.9.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	29	—	—		
ハクサイ	千樽	R4.10.12	Bq/kg生 <sup>14</sup> Cについては 上:Bq/kg生 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	75	—	—		
ナガイモ	平沼	R4.11.25		ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—		
ワカサギ	尾駁沼	R4.11.1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	—	—		
海水	放出口近	R4.10.6	mBq/L トリウムについては Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
	放出口5km点	R4.10.6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
	放出口5km点	R4.10.6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—		
海底土	放出口近	R4.10.6	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	210	ND	ND		
貝類 (アワビ)	六ヶ所海域	R4.11.14	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	79	—	—		
その他 (ウニ)	六ヶ所海域	R4.10.24	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—		

・Uは、<sup>234</sup>U、<sup>235</sup>U及び<sup>238</sup>Uの合計。

・機器分析によるγ線放出核種、<sup>3</sup>H及び<sup>90</sup>Srの測定値は、試料採取日に補正した値。

放射化学分析									備考
<sup>3</sup> H	<sup>14</sup> C	<sup>90</sup> Sr	<sup>129</sup> I	<sup>238</sup> Pu	<sup>239+240</sup> Pu	<sup>241</sup> Am	<sup>244</sup> Cm	U	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	44	塩分 19
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	48	塩分 19
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	44	塩分 19
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	49	塩分 18 (海水の塩分は約35)
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	—	—	—	—	—	
ND	—	1.2	—	—	—	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	0.88	0.31	ND	100	
—	14 0.23	ND	—	—	—	—	—	—	
—	15 0.24	ND	—	—	—	—	—	—	
—	84 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	87 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	85 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	4 0.23	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	16 0.22	ND	—	ND	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	0.06	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	0.28	0.11	ND	—	
—	—	ND	—	ND	0.006	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	ND	—	—	—	

(7)大気中の水蒸気状トリチウム測定結果

測定地点	採取期間	測定値		大気中水分量 (g/m <sup>3</sup> )	備考
		大気中濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )	水分中濃度 (Bq/L)		
老部川	R4. 9.30 ~ R4.10.31	ND	ND	9.2	
	R4.10.31 ~ R4.11.30	ND	ND	6.6	
	R4.11.30 ~ R4.12.28	ND	ND	4.0	
二又	R4. 9.30 ~ R4.10.31	ND	ND	8.6	
	R4.10.31 ~ R4.11.30	ND	ND	6.3	
	R4.11.30 ~ R4.12.28	ND	ND	3.8	
室ノ久保	R4. 9.30 ~ R4.10.31	ND	ND	8.9	
	R4.10.31 ~ R4.11.30	ND	ND	6.6	
	R4.11.30 ~ R4.12.28	ND	ND	4.1	

・測定値は、試料採取日に補正した値。

## (8)大気中の気体状フッ素測定結果

(単位:ppb)

測定局	測定月	平均	最大	最小	備考
老部川	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
二又	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	
室ノ久保	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	第3四半期	ND	ND	ND	

## (9)環境試料中のフッ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値	備考
大気	二又	R4.10.4~ R4.10.14	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ND	
	室ノ久保	R4.10.4~ R4.10.14		ND	
湖沼水	尾駁沼1	R4.10.18	mg/L	0.6	塩分 19
	尾駁沼1	R4.12.7		0.6	塩分 19
	尾駁沼2	R4.10.18		0.7	塩分 19
	尾駁沼2	R4.12.7		0.5	塩分 18 (海水の塩分は約35)
湖底土	尾駁沼	R4.10.18	mg/kg乾	190	
精米	二又	R4.10.9	mg/kg生	ND	
	戸鎖	R4.10.3		ND	
ハクサイ	千樽	R4.10.12		ND	
ナガイモ	平沼	R4.11.25		ND	
ワカサギ	尾駁沼	R4.11.1		12	

・「大気」の測定値は、粒子状フッ素及び気体状フッ素の合計。

(10)気象観測結果

①風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(°C)			湿度(%)		降水量(mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
老部川	10月	—	—	—	—	—	—	—	70.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	118.5	0	0	0	0	22
	12月	—	—	—	—	—	—	—	206.0	7	36	0	11	77
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	395.0	2	36	0	4	77
二又	10月	1.6	7.0	12.6	25.5	-1.3	75	40	98.0	0	0	0	0	0
	11月	1.9	8.2	7.6	18.1	-3.4	76	34	139.5	0	1	0	1	35
	12月	3.3	9.1	1.0	8.8	-6.7	73	39	147.5	7	29	0	10	66
	第3四半期	2.3	9.1	7.1	25.5	-6.7	75	34	385.0	2	29	0	4	66
室ノ久保	10月	—	—	—	—	—	—	—	88.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	119.0	0	0	0	0	19
	12月	—	—	—	—	—	—	—	206.5	9	45	0	14	85
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	413.5	3	45	0	5	85

- ・測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。
- ・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成29～令和3年度)の同一時期の平均値及び最大値。

②大気安定度出現頻度表

単位:時間(括弧内は%)

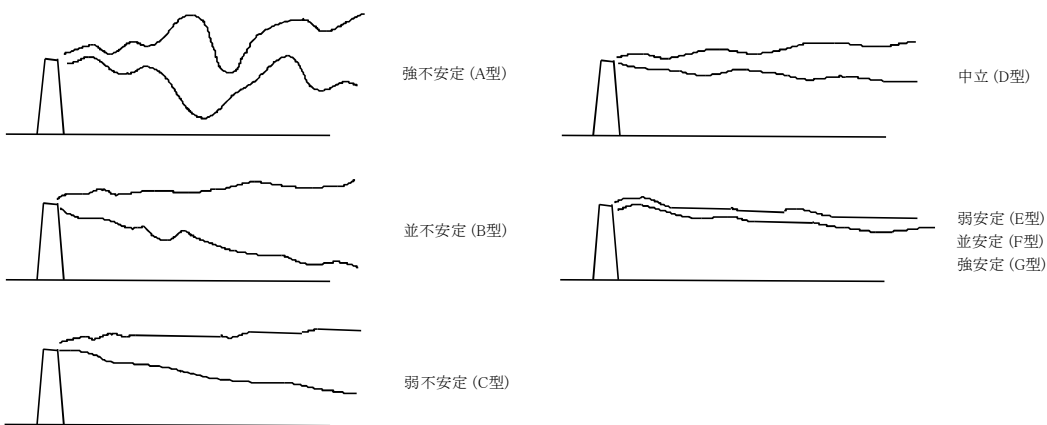
測定局	分類	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
	測定月												
二又	10月	7 (0.9)	53 (7.1)	72 (9.7)	18 (2.4)	37 (5.0)	11 (1.5)	226 (30.4)	33 (4.4)	32 (4.3)	255 (34.3)	744 (100)	
	11月	0 (0.0)	17 (2.4)	61 (8.5)	18 (2.5)	23 (3.2)	15 (2.1)	346 (48.1)	24 (3.3)	9 (1.3)	207 (28.8)	720 (100)	
	12月	0 (0.0)	7 (0.9)	23 (3.1)	6 (0.8)	24 (3.2)	9 (1.2)	518 (69.9)	21 (2.8)	32 (4.3)	101 (13.6)	741 (100)	
	第3 四半期	7 (0.3)	77 (3.5)	156 (7.1)	42 (1.9)	84 (3.8)	35 (1.6)	1090 (49.4)	78 (3.5)	73 (3.3)	563 (25.5)	2205 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)」に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

風速(U) m/s	日射量(T) kW/m <sup>2</sup>				放射収支量(Q) kW/m <sup>2</sup>		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.02 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

・発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)



大気安定度と煙の型との模式

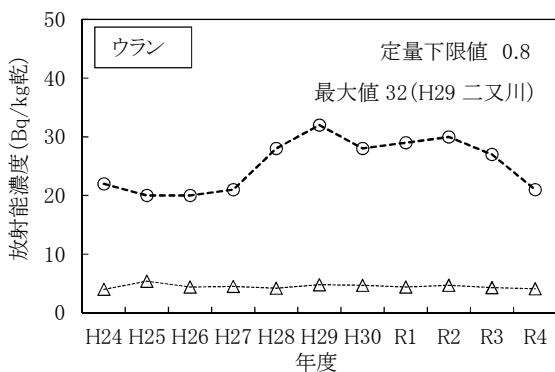
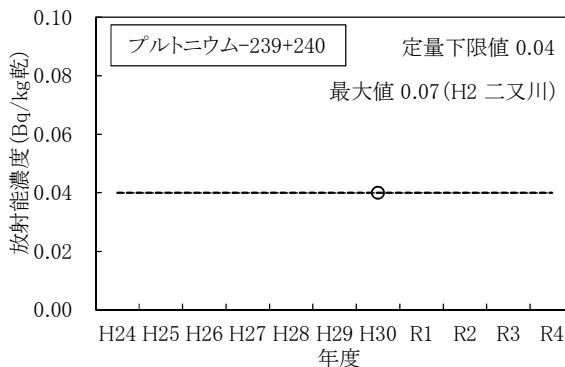
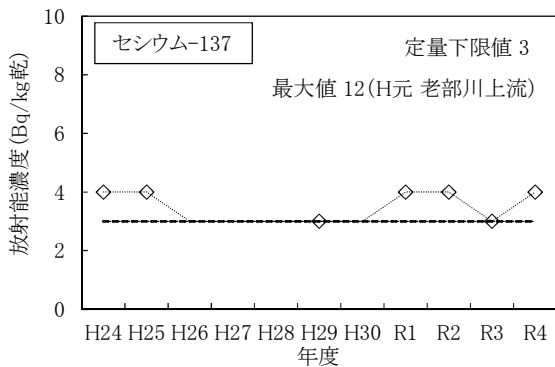






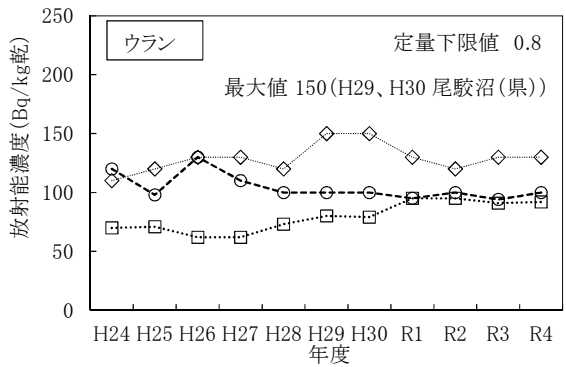
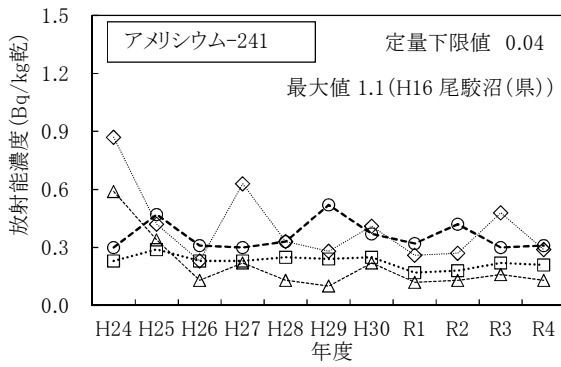
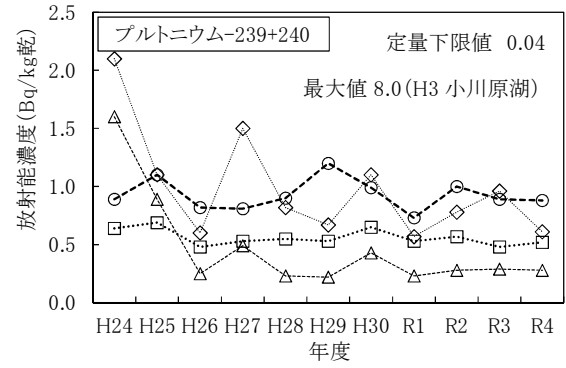
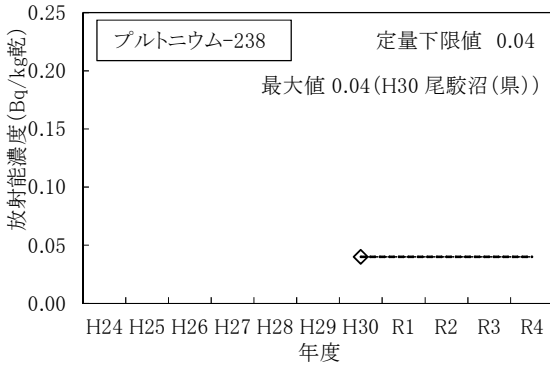
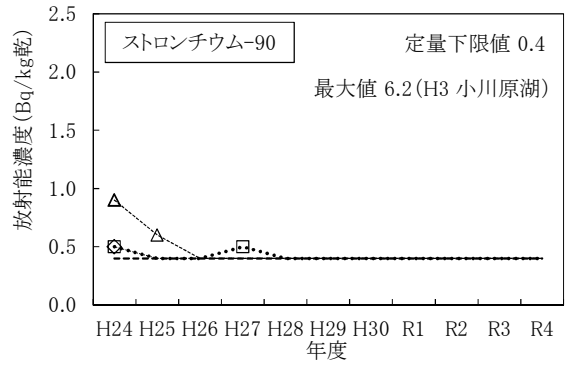
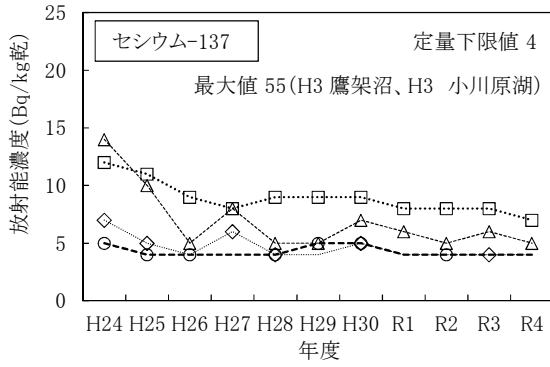
### 3. 参考図表

(1) 河底土中の放射能濃度の推移



- (凡例)
- ◆ 老部川上流
  - △ 老部川下流(事業者)
  - 老部川下流(県)
  - 二又川
- ・プルトニウム-238については、これまでの測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
  - ・マーカーの無い箇所はNDを示す。
  - ・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計。

(2) 湖底土中の放射能濃度の推移

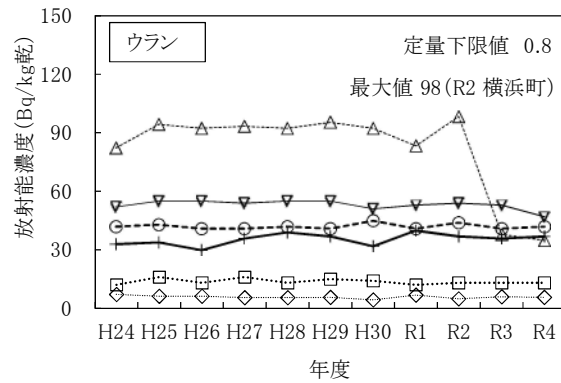
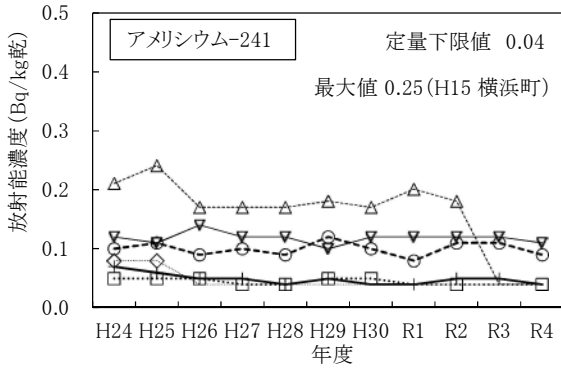
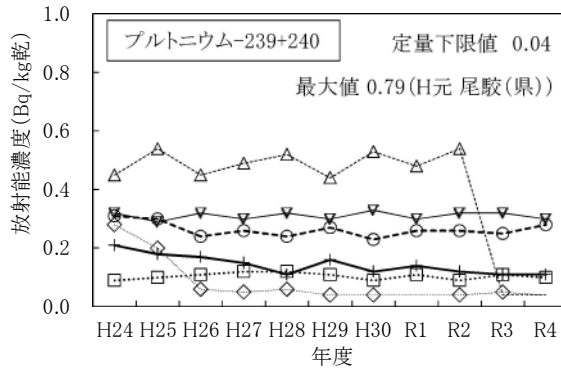
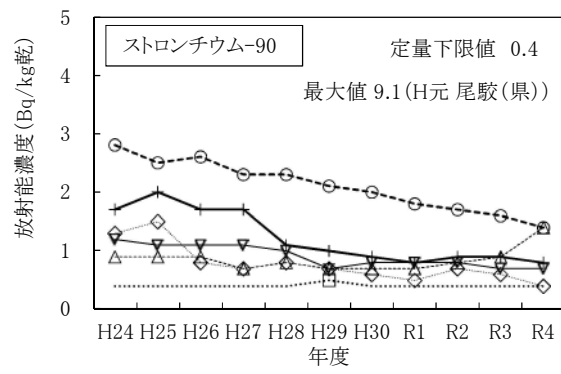
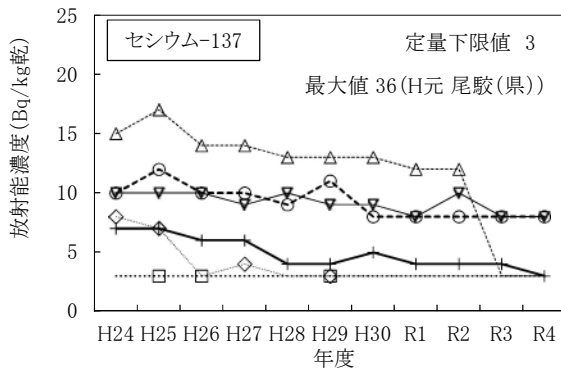


(凡例)

- ◇— 尾駸沼(県)
- △— 小川原湖
- 鷹架沼
- 尾駸沼(事業者)

- ・セシウム-137については、これまでの測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・マーカーの無い箇所はNDを示す。
- ・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計。

(3) 表土中の放射能濃度の推移

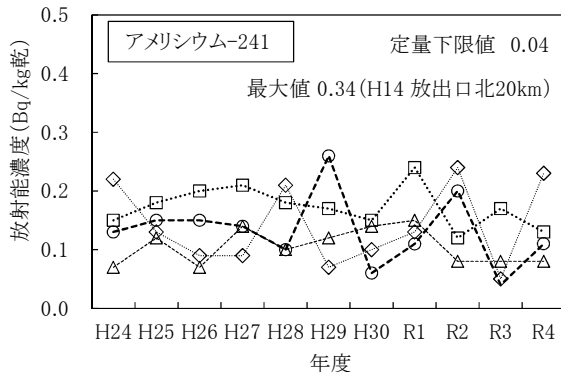
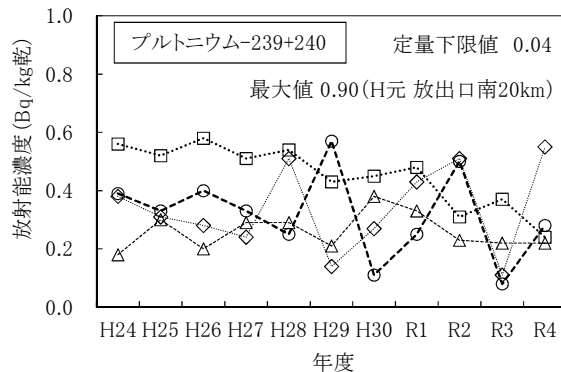


(凡例)

—◇—	尾駈(県)	.....□.....	千歳平
.....△.....	横浜町	---○---	尾駈(事業者)
—▽—	千樽	—+—	比較対照(青森市)

- ・ヨウ素-129、プルトニウム-238及びセシウム-137については、これまでの測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・マーカの無い箇所はNDを示す。
- ・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計。
- ・尾駈(県)は、平成26年度に採取場所を変更している。
- ・横浜町は、令和3年度に採取場所を変更している。
- ・比較対照(青森市)は、平成28年度に採取場所を変更している。

(4) 海底土中の放射能濃度の推移



(凡例)

—◇—	放出口付近(県)	.....□.....	放出口北20km
.....△.....	放出口南20km	---○---	放出口付近(事業者)

- ・セシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウム-238、セシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウム-238、セシウム-137、ストロンチウム-90、プルトニウム-238、セシウム-137については、これまでの測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・マーカの無い箇所はNDを示す。

# 東通原子力発電所





## 1. 青森県実施分測定結果

(1) 空間放射線量率測定結果

①モニタリングステーションによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
小田野沢	10月	18	52	16	2.8	13	0	13	6~28 (17±11)	9~79	12~79 (19)	
	11月	18	33	16	2.9	15	0	15				
	12月	19	66	12	6.9	59	0	59				
	第3四半期	18	66	12	4.7	87	0	87				
老部	10月	17	46	15	3.4	20	0	20	4~28 (16±12)	7~84	11~84 (17)	
	11月	17	40	15	3.6	20	0	20				
	12月	18	57	11	6.4	51	0	51				
	第3四半期	17	57	11	4.7	91	0	91				
近川	10月	21	62	20	3.1	8	0	8	8~34 (21±13)	8~76	14~75 (22)	
	11月	22	40	20	3.1	12	0	12				
	12月	23	63	16	6.3	35	0	35				
	第3四半期	22	63	16	4.5	55	0	55				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29~令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。  
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である東通原子力発電所に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

②モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
砂子又	10月	21	69	20	3.6	14	0	14	9~33 (21±12)	12~69	15~69 (22)	
	11月	22	42	20	3.2	12	0	12				
	12月	22	72	15	6.9	44	0	44				
	第3四半期	22	72	15	4.9	70	0	70				
古野牛川	10月	20	71	18	3.8	14	0	14	8~30 (19±11)	9~73	14~55 (20)	
	11月	21	42	19	2.8	11	0	11				
	12月	21	55	15	4.7	36	0	36				
	第3四半期	20	71	15	3.9	61	0	61				
尻労	10月	20	66	19	3.5	18	0	18	10~30 (20±10)	11~61	15~61 (21)	
	11月	21	38	19	2.7	15	0	15				
	12月	22	59	16	5.0	42	0	42				
	第3四半期	21	66	16	3.9	75	0	75				
桜木町	10月	17	48	15	3.2	11	0	11	2~30 (16±14)	5~78	9~74 (18)	
	11月	18	44	16	3.7	14	0	14				
	12月	18	64	10	7.9	43	0	43				
	第3四半期	18	64	10	5.4	68	0	68				
関根	10月	22	51	21	2.7	14	0	14	12~32 (22±10)	12~69	18~69 (23)	
	11月	23	41	21	2.5	9	0	9				
	12月	23	61	17	4.7	37	0	37				
	第3四半期	22	61	17	3.4	60	0	60				
吹越	10月	22	45	20	2.7	18	0	18	12~32 (22±10)	13~66	16~62 (24)	
	11月	23	44	21	3.6	33	0	33				
	12月	23	60	18	4.7	41	0	41				
	第3四半期	23	60	18	3.8	92	0	92				
泊	10月	22	43	20	3.8	13	0	13	4~38 (21±17)	6~91	11~91 (23)	
	11月	24	54	20	4.9	21	0	21				
	12月	24	65	14	7.2	38	0	38				
	第3四半期	23	65	14	5.5	72	0	72				
尾駸	10月	23	41	22	2.7	4	0	4	6~38 (22±16)	6~88	11~88 (23)	
	11月	25	62	21	4.7	15	0	15				
	12月	24	64	14	7.1	36	0	36				
	第3四半期	24	64	14	5.2	55	0	55				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29~令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29~令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。
- また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である東通原子力発電所に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2) 積算線量測定結果(RPLD)

測定地点		測定期間(日数)	3か月 積算線量 ( $\mu$ Gy/91日)	平常の変動幅 ( $\mu$ Gy/91日)	備考
東通村	小田野沢	R4. 9.22~R4.12.22 (91)	88	83 ~ 92	
	老部	"	88	80 ~ 91	
	砂子又	"	92	88 ~ 98	
	古野牛川	"	91	87 ~ 97	
	尻労	"	93	87 ~ 97	
	大平滝浄水場	"	93	75 ~ 97	
	猿ヶ森	"	107	89 ~ 110	
	目名	"	97	82 ~ 101	
むつ市	近川	"	96	86 ~ 99	
	桜木町	"	89	77 ~ 94	
	関根	"	95	87 ~ 99	
	一里小屋	"	101	89 ~ 104	
	美付	"	94	87 ~ 97	
横浜町	吹越	"	90	82 ~ 94	
	有畑	"	108	96 ~ 113	
六ヶ所村	泊	"	93	78 ~ 99	
	尾駸	"	95	78 ~ 104	
	二又	"	93	84 ~ 98	

- ・測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
  - ・「3か月積算線量」は測定期間の測定値を91日当たりに換算し整数で示した値。
  - ・「平常の変動幅」は平成29～令和3年度の3か月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。
- ただし、美付における平成29年度第4四半期の測定値は平常の変動幅の設定に用いていない(平成29年度報付5参照)。

## (3)大気浮遊じん中の全β放射能測定結果

(単位:Bq/m<sup>3</sup>)

測定局	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
小田野沢	R4.10. 3～R4.11. 1	228	1.2	4.9	0.12	
	R4.11. 1～R4.12. 1	239	1.8	6.3	0.30	
	R4.12. 1～R5. 1. 4	271	1.1	2.9	0.20	
	第3四半期	738	1.4	6.3	0.12	
老部	R4.10. 3～R4.11. 1	228	1.1	4.2	0.13	
	R4.11. 1～R4.12. 1	239	1.7	6.5	0.36	
	R4.12. 1～R5. 1. 4	271	1.1	3.0	0.23	
	第3四半期	738	1.3	6.5	0.13	
近川	R4.10. 3～R4.11. 1	228	1.3	4.7	0.095	
	R4.11. 1～R4.12. 1	239	2.0	6.3	0.36	
	R4.12. 1～R5. 1. 4	271	1.1	3.1	0.26	
	第3四半期	738	1.5	6.3	0.095	

- ・3時間集じん直後、10分間測定。
- ・平均値の算出においては測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し平均値に「<」を付ける。すべての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「\*」と表示する。

## (4)大気中のヨウ素-131測定結果

(単位:mBq/m<sup>3</sup>)

測定局	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
小田野沢	R4.10. 3～R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31～R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28～R5. 1. 2	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
老部	R4.10. 3～R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31～R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28～R5. 1. 2	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	
近川	R4.10. 3～R4.10.31	4	ND	ND	ND	
	R4.10.31～R4.11.28	4	ND	ND	ND	
	R4.11.28～R5. 1. 2	5	ND	ND	ND	
	第3四半期	13	ND	ND	ND	

- ・168時間捕集直後、1時間測定。

(5) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析						
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	
大気浮遊じん	小田野沢	R4.10. 3～ R4.11. 1	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.11. 1～ R4.12. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.12. 1～ R5. 1. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	老部	R4.10. 3～ R4.11. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.11. 1～ R4.12. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.12. 1～ R5. 1. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	近川	R4.10. 3～ R4.11. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.11. 1～ R4.12. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.12. 1～ R5. 1. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
降下物	砂子又	R4. 9.30～ R4.10.31	Bq/m <sup>2</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.10.31～ R4.11.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		R4.11.30～ R4.12.28		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
河川水	小老部川上流	R4.10.24	mBq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
水道水	老部	R4.10.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	砂子又	R4.10.24		トリチウム についてはBq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	一里小屋	R4.10.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
精米	目名	R4. 9.29	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	奥内	R4. 9.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
ダイコン	向野	R4.11. 1	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	泊	R4.10.27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
牛乳(原乳)	豊栄	R4.10. 4	Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	東栄	R4.10. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
松葉	小田野沢	R4.11. 9	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
ヒラメ	六ヶ所村 前面海域	R4.11. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
アワビ	小田野沢沖	R4.12. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	
タコ	小田野沢沖	R4.11. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	

- ・ 機器分析によるγ線放出核種、<sup>3</sup>H及び<sup>90</sup>Srの測定値は試料採取日に補正した値。
- ・ ヒラメ(六ヶ所村前面海域)は原子燃料サイクル施設環境放射線等調査の試料を兼ねる。

					放射化学分析				備考
<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	<sup>90</sup> Sr	<sup>238</sup> Pu	<sup>239+240</sup> Pu	
3.9	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.8	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.8	—	—	—	—	—	—	—	—	
4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
4.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.9	—	—	—	—	—	—	—	—	
4.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.9	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.8	—	—	—	—	—	—	—	—	
110	ND	—	—	—	—	—	—	—	
150	ND	—	—	—	—	—	—	—	
390	ND	—	—	—	—	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	26	—	—	—	—	ND	—	—	
ND	29	—	—	—	—	ND	—	—	
ND	72	—	—	—	—	0.07	—	—	
ND	53	—	—	—	—	ND	—	—	
ND	50	—	—	ND	—	ND	—	—	
ND	52	—	—	ND	—	ND	—	—	
58	74	—	—	—	—	0.04	—	—	
ND	140	—	—	—	—	ND	—	—	
ND	64	—	—	—	—	ND	ND	0.007	
ND	63	—	—	—	—	ND	—	—	

(6) 気象観測結果

① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(°C)			湿度(%)		降水量(mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
小田野沢	10月	—	—	—	—	—	—	—	62.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	80.0	0	0	0	0	9
	12月	—	—	—	—	—	—	—	192.5	11	49	0	5	41
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	335.0	4	49	0	2	41
老部	10月	1.9	8.6	13.9	27.1	4.6	74	34	114.5	0	0	0	0	0
	11月	1.7	6.4	8.8	18.6	0.2	74	28	96.5	0	0	0	0	11
	12月	2.1	8.3	1.4	9.3	-6.1	74	44	192.0	8	37	0	7	48
	第3四半期	1.9	8.6	8.0	27.1	-6.1	74	28	403.0	3	37	0	3	48
近川	10月	1.2	5.9	13.1	24.7	1.4	77	40	74.5	0	0	0	0	0
	11月	1.2	4.8	8.2	19.3	-0.6	76	42	86.5	0	0	0	0	13
	12月	1.6	6.6	1.2	10.3	-5.9	77	48	173.0	6	29	0	5	38
	第3四半期	1.3	6.6	7.5	24.7	-5.9	77	40	334.0	2	29	0	2	38
砂子又	10月	—	—	—	—	—	—	—	113.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	81.5	0	0	0	0	26
	12月	—	—	—	—	—	—	—	158.5	8	38	0	8	57
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	353.5	3	38	0	3	57
古野牛川	10月	—	—	—	—	—	—	—	123.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	57.5	0	0	0	0	15
	12月	—	—	—	—	—	—	—	105.0	3	17	0	3	26
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	285.5	1	17	0	1	26
尻労	10月	—	—	—	—	—	—	—	118.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	59.0	0	0	0	0	9
	12月	—	—	—	—	—	—	—	132.0	2	16	0	3	23
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	309.0	1	16	0	1	23



測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(°C)			湿度(%)		降水量(mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
桜木町	10月	—	—	—	—	—	—	—	114.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	111.0	0	0	0	1	23
	12月	—	—	—	—	—	—	—	205.5	16	52	0	14	68
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	431.0	5	52	0	5	68
関根	10月	—	—	—	—	—	—	—	103.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	74.0	0	0	0	0	17
	12月	—	—	—	—	—	—	—	138.0	6	27	0	8	38
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	315.0	2	27	0	3	38
吹越	10月	—	—	—	—	—	—	—	80.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	95.0	0	0	0	0	12
	12月	—	—	—	—	—	—	—	77.0	2	11	0	5	40
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	252.5	1	11	0	2	40
泊	10月	—	—	—	—	—	—	—	128.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	140.5	0	0	0	0	17
	12月	—	—	—	—	—	—	—	206.0	6	36	0	9	80
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	474.5	2	36	0	3	80
尾駸	10月	—	—	—	—	—	—	—	69.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	129.5	0	0	0	1	27
	12月	—	—	—	—	—	—	—	196.0	11	44	0	17	86
	第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	394.5	4	44	0	6	86

- ・ 測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。
- ・ 積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成29～令和3年度)の同一時期の平均値及び最大値。

②大気安定度出現頻度表

単位:時間(括弧内は%)

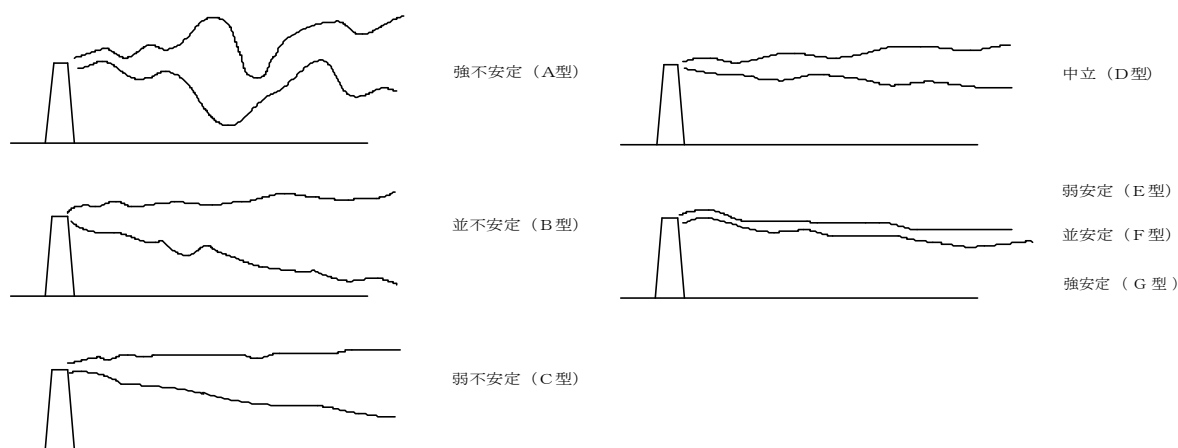
測定局	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
老部	10月	11 (1.5)	41 (5.5)	87 (11.7)	23 (3.1)	29 (3.9)	2 (0.3)	253 (34.0)	19 (2.6)	37 (5.0)	242 (32.5)	744 (100)	
	11月	0 (0.0)	36 (5.0)	48 (6.7)	13 (1.8)	32 (4.4)	6 (0.8)	279 (38.8)	26 (3.6)	23 (3.2)	257 (35.7)	720 (100)	
	12月	0 (0.0)	15 (2.0)	47 (6.4)	6 (0.8)	20 (2.7)	1 (0.1)	438 (59.3)	48 (6.5)	39 (5.3)	125 (16.9)	739 (100)	
	第3 四半期	11 (0.5)	92 (4.2)	182 (8.3)	42 (1.9)	81 (3.7)	9 (0.4)	970 (44.0)	93 (4.2)	99 (4.5)	624 (28.3)	2,203 (100)	
近川	10月	5 (0.7)	51 (6.9)	84 (11.3)	5 (0.7)	24 (3.2)	2 (0.3)	281 (37.8)	9 (1.2)	13 (1.7)	270 (36.3)	744 (100)	
	11月	0 (0.0)	32 (4.4)	43 (6.0)	4 (0.6)	14 (1.9)	1 (0.1)	344 (47.8)	17 (2.4)	29 (4.0)	236 (32.8)	720 (100)	
	12月	0 (0.0)	6 (0.8)	34 (4.6)	3 (0.4)	19 (2.6)	0 (0.0)	533 (71.6)	20 (2.7)	15 (2.0)	114 (15.3)	744 (100)	
	第3 四半期	5 (0.2)	89 (4.0)	161 (7.3)	12 (0.5)	57 (2.6)	3 (0.1)	1,158 (52.4)	46 (2.1)	57 (2.6)	620 (28.1)	2,208 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)」に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

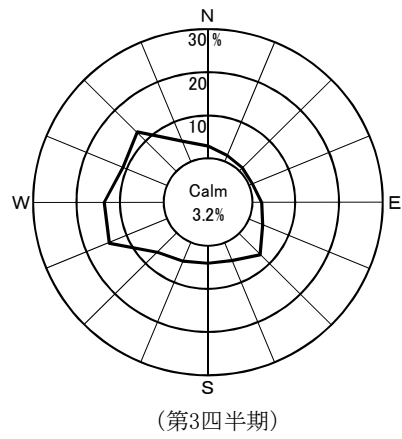
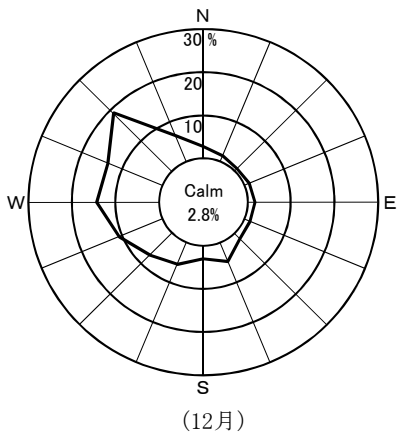
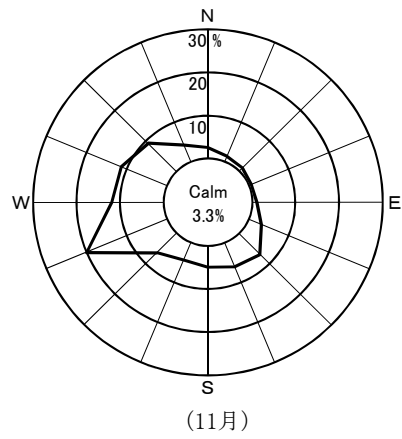
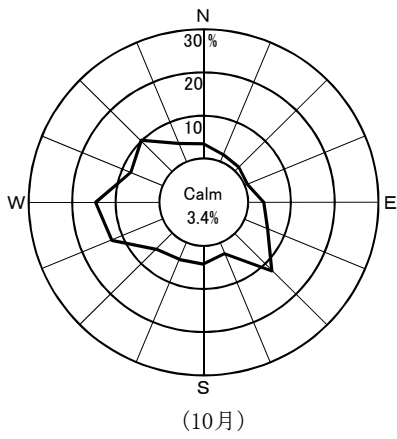
風速(U) m/s	日射量(T) kW/m <sup>2</sup>				放射収支量(Q) kW/m <sup>2</sup>		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針 (平成13年3月 原子力安全委員会)

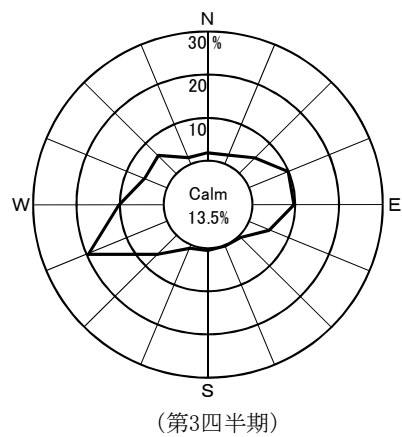
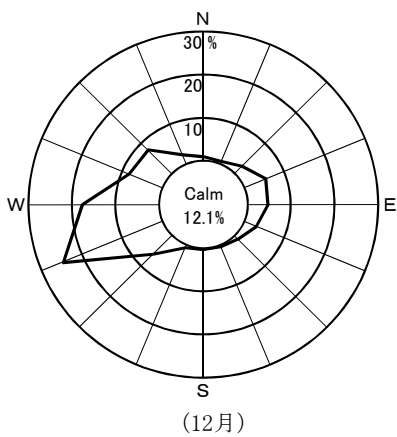
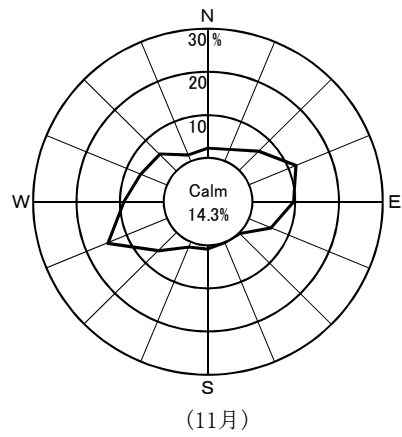
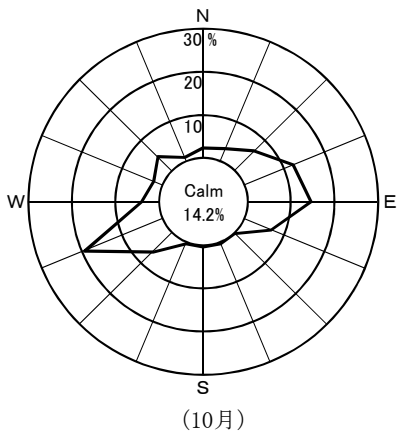


大気安定度と煙の型との模式図

③ 風配図  
老部



近川



Calm: 風速0.5 m/sec未満



## 2. 事業者実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

①モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数(単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
小川町	10月	16	44	15	2.6	16	0	16	7~25 (16±9)	11~56	13~56 (17)	
	11月	17	38	15	2.7	19	0	19				
	12月	18	59	14	5.9	58	0	58				
	第3四半期	17	59	14	4.1	93	0	93				
林ノ脇	10月	22	52	20	3.0	18	0	18	10~30 (20±10)	12~75	14~75 (22)	
	11月	22	38	20	3.2	36	0	36				
	12月	22	50	16	4.9	60	0	60				
	第3四半期	22	52	16	3.8	114	0	114				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29～令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。  
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である東通原子力発電所に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2)積算線量測定結果(RPLD)

測定地点		測定期間 (日数)	3か月積算線量 ( $\mu$ Gy/91日)	平常の変動幅 ( $\mu$ Gy/91日)	備考
東通村	白 糠	R4. 9.22~R4.12.22 (91)	84	75 ~ 91	
	上 田 代	"	94	84 ~ 101	
	上 田 屋	"	96	84 ~ 101	
	蒲 野 沢	"	93	85 ~ 97	
むつ市	小 川 町	"	85	84 ~ 90	
横浜町	林 ノ 脇	"	92	85 ~ 98	

- ・測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
- ・「3か月積算線量」は測定期間の測定値を91日あたりに換算し整数で示した値。
- ・「平常の変動幅」は平成29~令和3年度の3か月積算線量の測定値の「最小値~最大値」。

(3)環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器					
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs
大気浮遊じん	周辺監視区域境界付近(西側)	R4.10.3~ R4.11.1	mBq/m <sup>3</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.11.1~ R4.12.1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.12.1~ R5.1.4		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	周辺監視区域境界付近(南側)	R4.10.3~ R4.11.1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.11.1~ R4.12.1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.12.1~ R5.1.4		ND	ND	ND	ND	ND	ND
降下物	周辺監視区域境界付近	R4.9.30~ R4.10.31	Bq/m <sup>2</sup>	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.10.31~ R4.11.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.11.30~ R4.12.28		ND	ND	ND	ND	ND	ND
水道水	小田野沢 近川 泊	R4.10.5	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.10.5		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.10.5		ND	ND	ND	ND	ND	ND
精米	砂子又 大豆田	R4.9.24	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R4.10.5		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	近川	R4.10.31		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	砂子又	R4.10.3		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	今泉	R4.10.31		ND	ND	ND	ND	ND	ND
牛乳(原乳)	斗南丘	R4.10.4	Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	鶏沢	R4.10.4		ND	ND	ND	ND	ND	ND
松葉	老部	R4.11.15	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	上イタヤノ木	R4.11.1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
海水	放水口付近	R4.10.24	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口沖	R4.10.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND
コンブ	放水口付近	R4.10.24	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
チガイソ	白糠	R4.10.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND

・測定値は、試料採取日に補正した値。



分 析					放射化学分析		備 考
<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	<sup>90</sup> Sr	
4.1	—	—	—	—	—	—	
4.0	—	—	—	—	—	—	
2.9	—	—	—	—	—	—	
4.5	—	—	—	—	—	—	
4.4	—	—	—	—	—	—	
3.1	—	—	—	—	—	—	
29	ND	—	—	—	—	—	
77	ND	—	—	—	—	—	
320	ND	—	—	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	42	—	—	—	—	ND	
ND	33	—	—	—	—	ND	
ND	76	—	—	—	—	ND	
ND	56	—	—	ND	—	0.07	
ND	79	—	—	ND	—	0.05	
ND	49	—	—	ND	—	ND	
ND	53	—	—	ND	—	ND	
53	78	—	—	ND	—	2.2	
70	80	—	—	—	—	0.33	
ND	—	—	—	—	ND	—	
ND	—	—	—	—	ND	—	
ND	260	—	—	ND	—	ND	
7	240	—	—	—	—	ND	

(4)気象観測結果

①降水量・積雪深

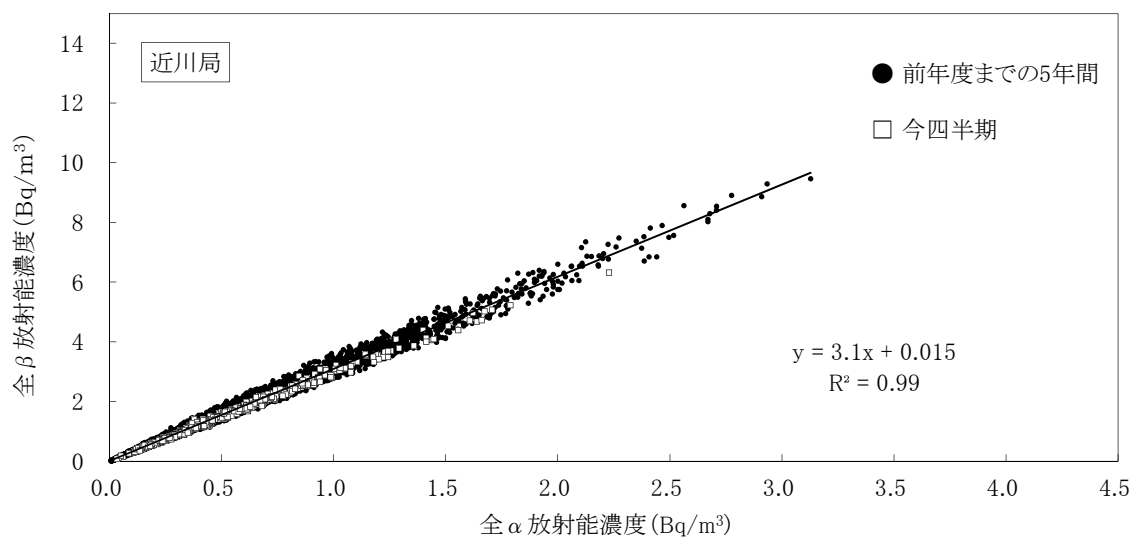
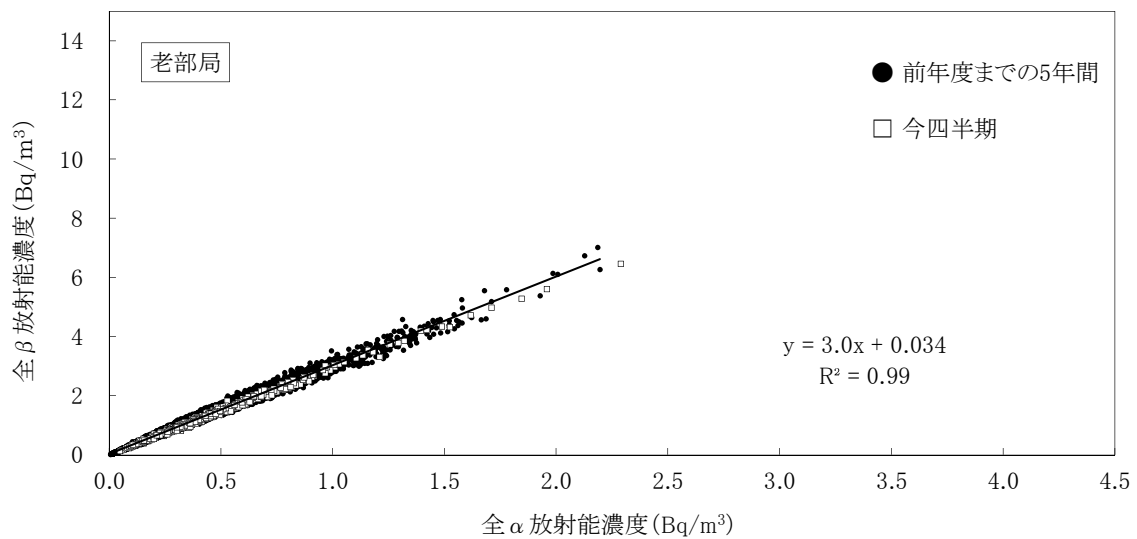
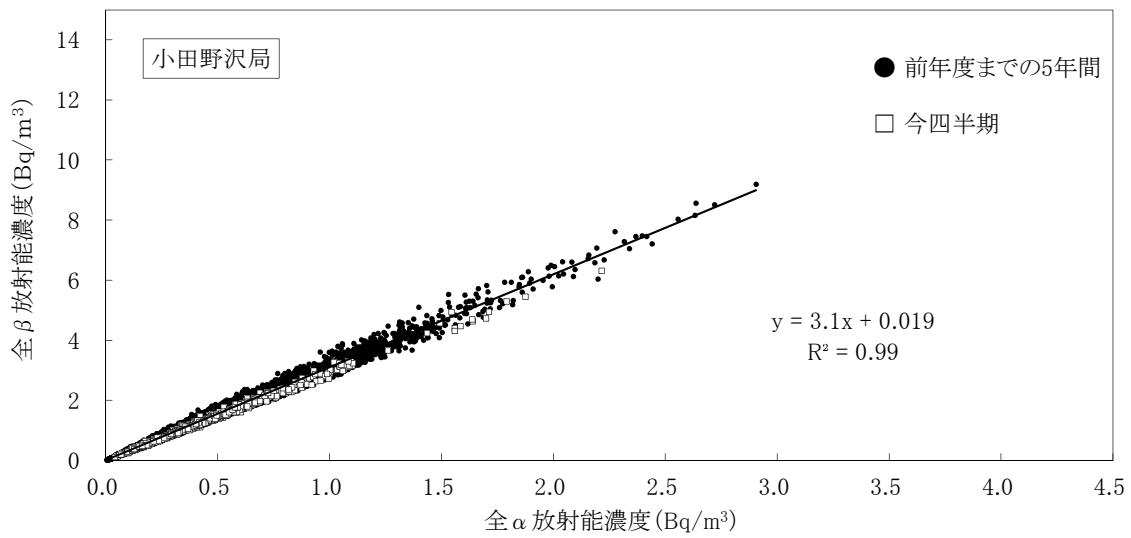
測定局	測定月	降水量 (mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
小川町	10月	97.5	0	0	0	0	0
	11月	78.0	0	0	0	0	21
	12月	144.5	6	28	0	6	35
	第3四半期	320.0	2	28	0	2	35
林ノ脇	10月	84.0	0	0	0	0	0
	11月	94.0	0	0	0	0	17
	12月	110.5	7	32	0	12	78
	第3四半期	288.5	2	32	0	4	78

・測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。

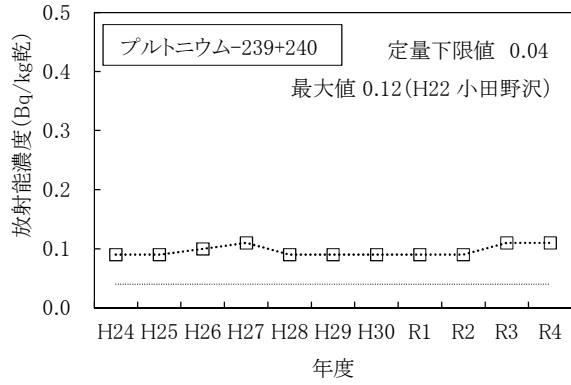
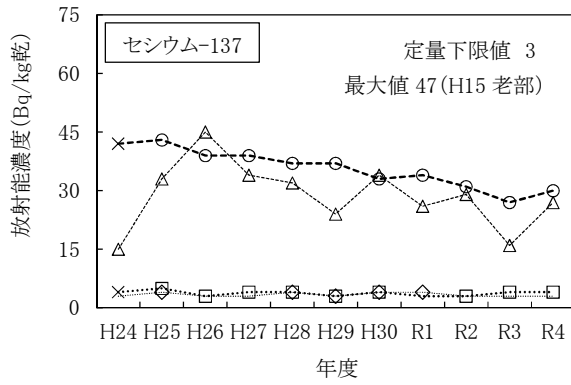
・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成29～令和3年度)の同一時期の平均値及び最大値。

### 3. 参考図表

(1) 大気浮遊じん中の全α放射能濃度及び全β放射能濃度の相関



(2) 表土中の放射能濃度の推移

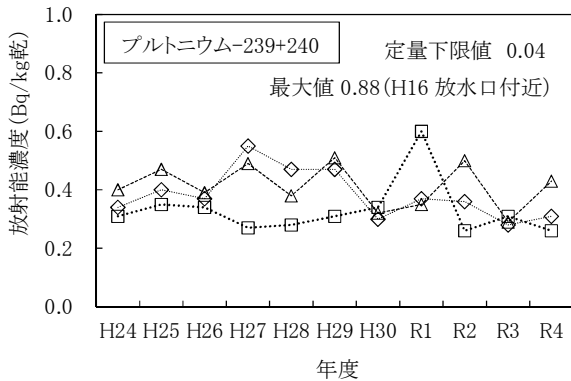


(凡例)

- ◇ 周辺監視区域境界付近
- △ 敷地境界付近
- 小田野沢
- 老部

- ・マーカーの無い箇所はNDを、「×」は、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が認められたことから、平常の変動幅の設定に用いないこととした測定値を示す。
- ・プルトニウム-238については、これまでの測定値がNDであったためグラフの作成を省略した。

(3) 海底土中の放射能濃度の推移



(凡例)

- ◇ 放水口付近(県)
- △ 放水口沖南2km
- 放水口沖北2km

- ・セシウム-137については、過去の測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・プルトニウム-238については、これまでの測定値がNDであったためグラフの作成を省略した。



# リサイクル燃料備蓄センター





## 1. 青森県実施分測定結果

(1) 空間放射線量率測定結果

① モニタリングポストによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
関根	10月	22	51	21	2.7	14	-	14	12~32 (22±10)	12~69	18~69 (23)	
	11月	23	41	21	2.5	9	-	9				
	12月	23	61	17	4.7	37	-	37				
	第3四半期	22	61	17	3.4	60	-	60				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29～令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。  
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設であるリサイクル燃料備蓄センターに起因するもの。ただし、施設が操業前であるため、表には「-」として記載している。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。

(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
関根	10月	52	80	50	2.8	
	11月	53	73	50	2.9	
	12月	54	90	49	4.6	
	第3四半期	53	90	49	3.6	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含む。

## (2) 積算線量測定結果(RPLD)

測定地点		測定期間(日数)	3か月積算線量 ( $\mu$ Gy/91日)	平常の変動幅 ( $\mu$ Gy/91日)	備考
むつ市	関根	R4. 9.22~R4.12.22 (91)	95	87 ~ 99	
	水川目	〃	91	81 ~ 94	
	美付	〃	94	87 ~ 97	
	浜関根	〃	97	91 ~ 100	
	比較対照 (むつ市川内町)	〃	101	79 ~ 104	

- ・測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
- ・「3か月積算線量」は測定期間の測定値を91日当たりに換算し整数で示した値。
- ・「平常の変動幅」は平成29～令和3年度の3か月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。  
ただし、美付における平成29年度第4四半期の測定値は平常の変動幅の設定に用いていない(平成29年度報 付5参照)。

## (3) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析										備考
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac	
松葉	浜ノ平	R4.11.18	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	68	84	—	—	
	比較対照 (むつ市川内町)	R4.11. 9		ND	ND	ND	ND	ND	53	79	—	—		

- ・測定値は試料採取日に補正した値。

## (4) 気象観測結果

### ①降水量・積雪深

測定局	測定月	降水量 (mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
関根	10月	103.0	0	0	0	0	0
	11月	74.0	0	0	0	0	17
	12月	138.0	6	27	0	8	38
	第3四半期	315.0	2	27	0	3	38

- ・測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。
- ・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成29～令和3年度)の同一時期の平均値及び最大値。



## 2. 事業者実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

①モニタリングポストによる空間放射線量率(NaI)測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数 (単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数 (単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等				
美付	10月	20	61	18	3.2	10	-	10	6~32 (19±13)	7~69	14~69 (21)	
	11月	21	39	19	2.7	8	-	8				
	12月	21	64	14	5.5	38	-	38				
	第3四半期	21	64	14	4.0	56	-	56				

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、平成29～令和3年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、平成29～令和3年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。  
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設であるリサイクル燃料備蓄センターに起因するもの。ただし、施設が操業前であるため、表には「-」として記載している。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。

(参考)モニタリングポストによる空間放射線量率(電離箱)測定結果 (単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
美付	10月	55	94	51	3.1	
	11月	56	75	53	2.8	
	12月	57	99	49	5.5	
	第3四半期	56	99	49	4.1	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含む。

## (2) 積算線量測定結果(RPLD)

測定地点		測定期間(日数)	3か月積算線量 ( $\mu$ Gy/91日)	平常の変動幅 ( $\mu$ Gy/91日)	備考
むつ市	美付	R 4. 9.22 ~ R 4.12.22 (91)	97	84~100	
東通村	石持	〃	94	84~97	
	大利	〃	89	77~91	

- ・測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
  - ・「3か月積算線量」は測定期間の測定値を91日当たりに換算し整数で示した値。
  - ・「平常の変動幅」は、平成29～令和3年度の3か月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。
- ただし、美付における平成29年度第4四半期の測定値は平常の変動幅の設定に用いていない(平成29年度報付5参照)。

## (3) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析										備考
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	<sup>214</sup> Bi	<sup>228</sup> Ac	
松葉	美付	R4.11.8	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	44	74	-	-	

- ・測定値は、試料採取日に補正した値。

## (4) 気象観測結果

### ①降水量・積雪深

測定局	測定月	降水量 (mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
美付	10月	95.5	0	0	0	0	0
	11月	61.0	0	0	0	0	14
	12月	121.5	3	19	0	4	29
	第3四半期	278.0	1	19	0	1	29

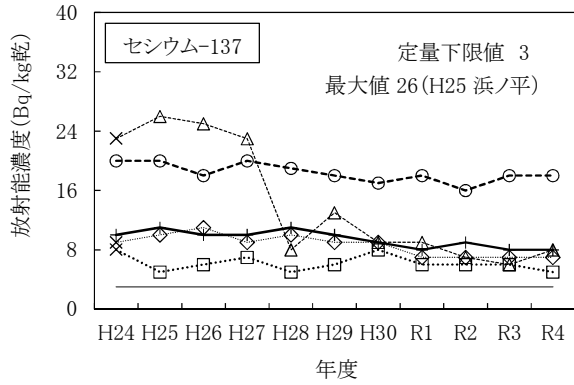
- ・測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。
- ・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成29～令和3年度)の同一時期の平均値及び最大値。





### 3. 参考図表

(1) 表土中の放射能濃度の推移



(凡例)

- ◇ 関根
- △ 浜ノ平
- ▽ 大利
- 水川目
- 美付
- +— 比較対照 (むつ市川内町)

- ・マーカーの無い箇所はNDを、「×」は、東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が認められたことから、平常の変動幅の設定に用いないこととした測定値を示す。
- ・浜ノ平は、平成28年度、平成29年度に採取場所を変更している。

## 周辺監視区域内測定結果

# 原子燃料サイクル施設

## 1. モニタリングポスト測定結果

### (1) 再処理事業所モニタリングポスト

- ① 空間放射線量率(低線量率計)
- ② 大気中の気体状 $\beta$ 放射能(クリプトン-85換算)

### (2) 濃縮・埋設事業所モニタリングポスト

- ① 空間放射線量率(低線量率計)

## 2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果

## 3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果

## 4. 気象観測結果

- ① 風速
- ② 降水量
- ③ 大気安定度
- ④ 風配図

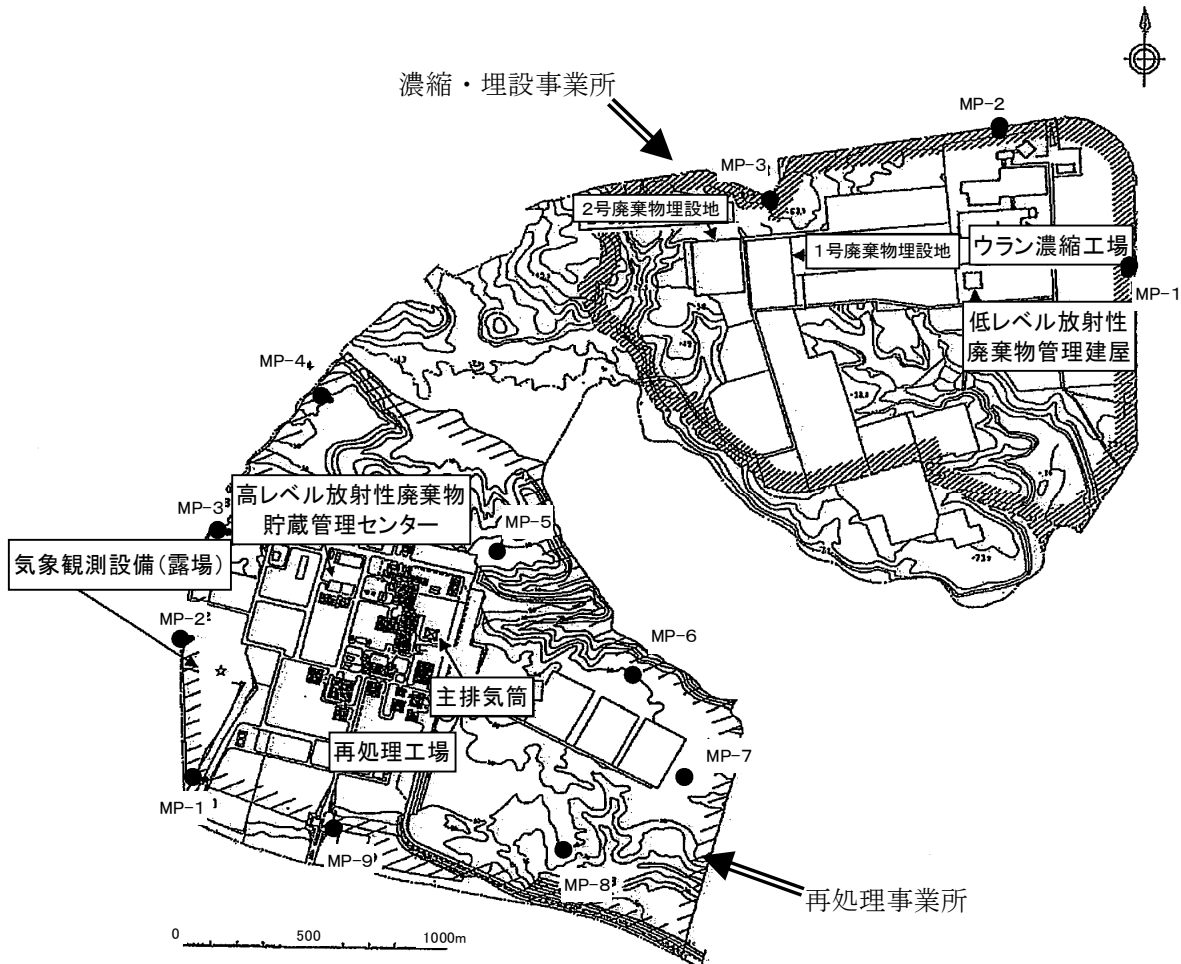


図 モニタリングポスト、主排気筒、気象観測設備配置図

## 1.モニタリングポスト測定結果

(1)再処理事業所モニタリングポスト(令和4年10月～令和4年12月)

①空間放射線量率(低線量率計)

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
MP-1	10月	17	33	15	98	
	11月	18	57	15		
	12月	18	48	12		
	第3四半期	18	57	12		
MP-2	10月	19	37	18	83	
	11月	21	56	18		
	12月	20	45	14		
	第3四半期	20	56	14		
MP-3	10月	17	35	15	74	
	11月	18	58	15		
	12月	18	52	11		
	第3四半期	17	58	11		
MP-4	10月	18	38	16	76	
	11月	19	58	16		
	12月	18	54	13		
	第3四半期	18	58	13		
MP-5	10月	17	34	15	73	
	11月	18	56	15		
	12月	18	38	13		
	第3四半期	18	56	13		
MP-6	10月	17	32	15	92	
	11月	18	55	15		
	12月	17	45	12		
	第3四半期	17	55	12		
MP-7	10月	17	36	16	117	
	11月	19	66	16		
	12月	18	46	12		
	第3四半期	18	66	12		
MP-8	10月	17	36	16	118	
	11月	19	63	16		
	12月	18	45	12		
	第3四半期	18	63	12		
MP-9	10月	18	36	17	102	
	11月	19	56	17		
	12月	19	46	13		
	第3四半期	19	56	13		

・3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)、連続測定(1時間値)、局舎屋根(地上約6 m)に設置。

・測定値は1時間値。

・測定値は、3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。

・「過去最大値」は、平成29～令和3年度までの測定値の最大値。

②大気中の気体状β放射能(クリプトン-85換算)

(単位:kBq/m<sup>3</sup>)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
MP-1	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-2	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-3	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-4	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-5	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-6	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-7	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-8	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		
MP-9	10月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	11月	ND	ND	ND		
	12月	ND	ND	ND		
	第3四半期	ND	ND	ND		

・プラスチックシンチレーション検出器(350×300×0.5 mm)、連続測定(1時間値)

・測定値は1時間値。

・NDは、定量下限値(2 kBq/m<sup>3</sup>)未満を示す。

・「過去最大値」は、平成29～令和3年度の測定値の最大値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と示す。

## (2)濃縮・埋設事業所モニタリングポスト(令和4年10月～令和4年12月)

## ①空間放射線量率(低線量率計)

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
MP-1	10月	21	40	19	73	
	11月	23	61	19		
	12月	22	65	14		
	第3四半期	22	65	14		
MP-2	10月	25	40	24	65	
	11月	27	55	24		
	12月	26	53	19		
	第3四半期	26	55	19		
MP-3	10月	25	42	23	73	
	11月	26	63	23		
	12月	25	64	17		
	第3四半期	25	64	17		

- ・3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)、連続測定(1時間値)、地上約1.8 mに設置。
- ・測定値は1時間値。
- ・測定値は、3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「過去最大値」は、平成29～令和3年度までの測定値の最大値。

2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果（令和4年10月～令和4年12月）

（単位：Bq）

測定月	$^3\text{H}$	$^{129}\text{I}$	$^{131}\text{I}$	その他 $\alpha$ 線を放出する核種	その他 $\alpha$ 線を放出しない核種	備考
10月	$8.6 \times 10^7$ ( $7.8 \times 10^7$ )	$5.7 \times 10^5$ ( $3.0 \times 10^5$ )	*	*	*	
11月	*	$3.5 \times 10^5$ ( $1.6 \times 10^5$ )	*	*	*	
12月	$1.2 \times 10^8$ ( $2.5 \times 10^7$ )	$5.9 \times 10^5$ ( $2.5 \times 10^5$ )	*	*	*	
第3四半期	$2.1 \times 10^8$ ( $1.0 \times 10^8$ )	$1.5 \times 10^6$ ( $7.1 \times 10^5$ )	*	*	*	

・放出量は、低レベル廃液処理建屋と使用済み燃料受入れ・貯蔵管理建屋からの放出を合わせた数値である。

・「その他  $\alpha$  線を放出する核種」は全  $\alpha$ 、「その他  $\alpha$  線を放出しない核種」は全  $\beta$  ( $\gamma$ ) である。

全  $\alpha$  又は全  $\beta$  ( $\gamma$ ) が検出限界以上の場合は、当該試料について核種別に測定した結果を用いて算出している。

( ) 内の数値は、測定結果が有意値となったときの検出限界濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)に排水量(cm<sup>3</sup>)を乗じて算出した放射能(Bq)を足し合わせた量である。

・「\*」は検出限界未満を示す。

(参考) その他  $\alpha$  線を放出する核種及びその他  $\alpha$  線を放出しない核種の核種ごとの放出量

(単位：Bq)

測定月	Pu( $\alpha$ )	Am( $\alpha$ )	Cm( $\alpha$ )	$^{241}\text{Pu}$	$^{60}\text{Co}$	$^{106}\text{Ru}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$
10月	*	*	*	*	*	*	*	*
11月	*	*	*	*	*	*	*	*
12月	*	*	*	*	*	*	*	*
第3四半期	*	*	*	*	*	*	*	*

測定月	$^{154}\text{Eu}$	$^{144}\text{Ce}$	$^{90}\text{Sr}$	備考
10月	*	*	/	
11月	*	*		
12月	*	*		
第3四半期	*	*	*	

・低レベル廃液処理建屋からの放出を示す。

・ $^{90}\text{Sr}$ は、四半期ごとに測定している。

・「\*」は検出限界未満を示す。



3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果（令和4年10月～令和4年12月）

（単位：Bq）

測定月	$^{85}\text{Kr}$	$^3\text{H}$	$^{14}\text{C}$	$^{129}\text{I}$	$^{131}\text{I}$	その他 $\alpha$ 線を放出する核種	その他 $\alpha$ 線を放出しない核種	備考
10月	*	$4.0 \times 10^9$ ( $1.9 \times 10^9$ )	*	*	*	*	*	
11月	*	$4.0 \times 10^9$ ( $1.8 \times 10^9$ )	*	*	$2.5 \times 10^6$ ( $2.3 \times 10^5$ )	*	*	
12月	*	$3.6 \times 10^9$ ( $1.1 \times 10^9$ )	*	*	$2.4 \times 10^5$ ( $1.6 \times 10^5$ )	*	*	
第3四半期	*	$1.2 \times 10^{10}$ ( $4.8 \times 10^9$ )	*	*	$2.7 \times 10^6$ ( $3.9 \times 10^5$ )	*	*	

- ・「その他 $\alpha$ 線を放出する核種」は全 $\alpha$ 、「その他 $\alpha$ 線を放出しない核種」は全 $\beta$ ( $\gamma$ )である。
- ・全 $\alpha$ 又は全 $\beta$ ( $\gamma$ )が検出限界以上の場合は、当該試料について核種別に測定した結果を用いて算出している。
- ・( )内の数値は、測定結果が有意値となったときの検出限界濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)に排気量(cm<sup>3</sup>)を乗じて算出した放射能(Bq)を足し合わせた量である。
- ・「\*」は検出限界を示す。

(参考)その他 $\alpha$ 線を放出する核種及びその他 $\alpha$ 線を放出しない核種の核種ごとの放出量（単位：Bq）

測定月	Pu( $\alpha$ )	$^{106}\text{Ru}$	$^{137}\text{Cs}$	$^{90}\text{Sr}$	備考
10月	*	*	*	/	
11月	*	*	*		
12月	*	*	*		
第3四半期	*	*	*		*

- ・ $^{90}\text{Sr}$ は、四半期ごとに測定している。
- ・「\*」は検出限界未滿を示す。

○放出量測定結果における検出限界濃度

(1) 液体廃棄物の検出限界濃度

(単位: Bq/cm<sup>3</sup>)

核種	検出限界濃度
<sup>3</sup> H	2×10 <sup>-1</sup> 以下
<sup>129</sup> I	2×10 <sup>-3</sup> 以下
<sup>131</sup> I	2×10 <sup>-2</sup> 以下
全α	4×10 <sup>-3</sup> 以下
全β(γ)	4×10 <sup>-2</sup> 以下
Pu(α)	1×10 <sup>-3</sup> 以下
Am(α)	6×10 <sup>-5</sup> 以下
Cm(α)	6×10 <sup>-5</sup> 以下
<sup>241</sup> Pu	3×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>60</sup> Co	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>106</sup> Ru	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>134</sup> Cs	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>137</sup> Cs	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>154</sup> Eu	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>144</sup> Ce	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>90</sup> Sr	7×10 <sup>-4</sup> 以下

(2) 気体廃棄物の検出限界濃度

(単位: Bq/cm<sup>3</sup>)

核種	検出限界濃度
<sup>85</sup> Kr	2×10 <sup>-2</sup> 以下
<sup>3</sup> H	4×10 <sup>-5</sup> 以下
<sup>14</sup> C	4×10 <sup>-5</sup> 以下
<sup>129</sup> I	4×10 <sup>-8</sup> 以下
<sup>131</sup> I	7×10 <sup>-9</sup> 以下
全α	4×10 <sup>-10</sup> 以下
全β(γ)	4×10 <sup>-9</sup> 以下
Pu(α)	4×10 <sup>-10</sup> 以下
<sup>106</sup> Ru	4×10 <sup>-9</sup> 以下
<sup>137</sup> Cs	4×10 <sup>-9</sup> 以下
<sup>90</sup> Sr	4×10 <sup>-10</sup> 以下

#### 4.気象観測結果(令和4年10月～令和4年12月)

##### ①風速

測定地点	測定月	風速(m/sec)		備考
		平均	最大	
地上10 m	10 月	2.6	12.5	
	11 月	2.7	10.8	
	12 月	4.2	10.9	
	第3四半期	3.2	12.5	
地上150 m	10 月	6.5	19.5	
	11 月	7.0	19.1	
	12 月	9.0	23.2	
	第3四半期	7.5	23.2	

- ・「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。
- ・地上10 m :風向風速計[超音波式](気象庁検定付)、連続測定(1時間値)
- ・地上150 m :ドップラーソーダ、連続測定(1時間値)

##### ②降水量

測定地点	測定月	降水量(mm)	備考
露場	10 月	79.5	
	11 月	121.5	
	12 月	182.5	
	第3四半期	383.5	

- ・「地上気象観測指針(平成14年 気象庁)」に基づく1時間値を用いて算出。
- ・雨雪量計[転倒ます型](気象庁検定付)

##### ③大気安定度

(単位:時間[括弧内は%])

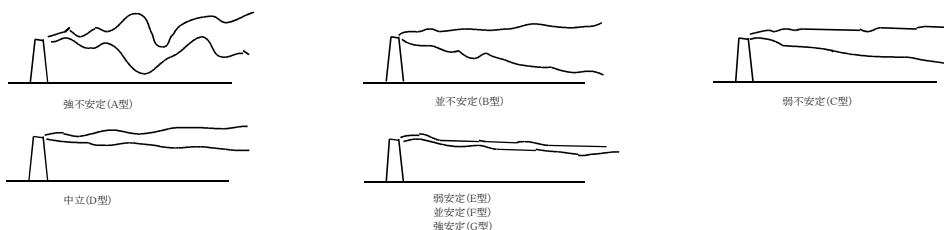
測定地点	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
		露場	10 月	3 (0.4)	31 (4.3)	50 (7.0)	18 (2.5)	36 (5.0)	26 (3.6)	297 (41.3)	37 (5.1)	34 (4.7)	
11 月	1 (0.1)		14 (1.9)	47 (6.5)	15 (2.1)	23 (3.2)	16 (2.2)	390 (54.2)	23 (3.2)	25 (3.5)	166 (23.1)	720 (100)	
12 月	0 (0.0)		3 (0.4)	13 (1.8)	4 (0.5)	20 (2.7)	15 (2.0)	592 (80.7)	21 (2.9)	13 (1.8)	53 (7.2)	734 (100)	
第3 四半期	4 (0.2)		48 (2.2)	110 (5.1)	37 (1.7)	79 (3.6)	57 (2.6)	1279 (58.9)	81 (3.7)	72 (3.3)	406 (18.7)	2173 (100)	

- ・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)」に基づく1時間値を用いて分類。
- ・風向風速計[超音波式](気象庁検定付)、日射計[電気式](気象庁検定付)、放射収支計[熱電対式]

大気安定度分類表

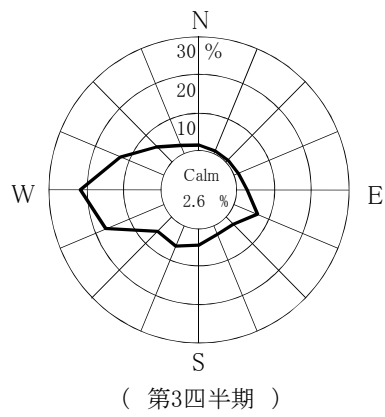
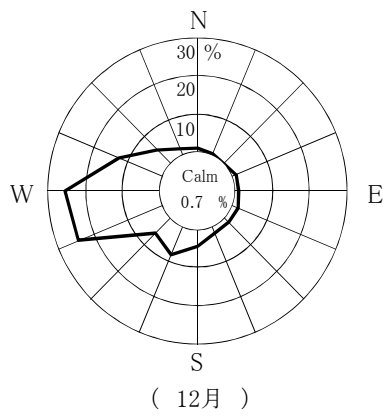
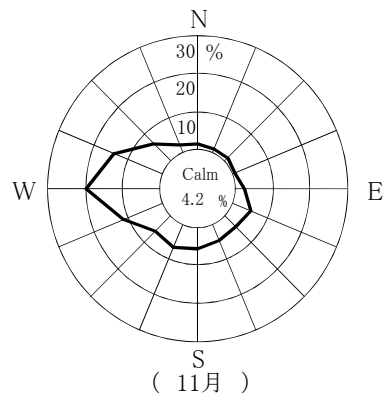
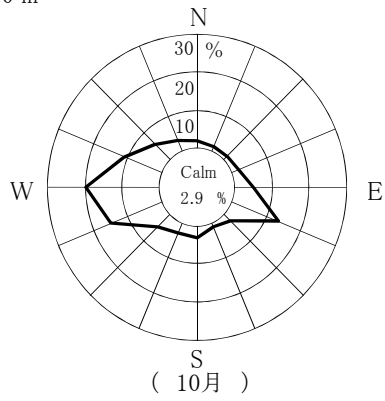
風速(U) m/s	日射量(T) kW/m <sup>2</sup>				放射収支量(Q) kW/m <sup>2</sup>		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.02 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)

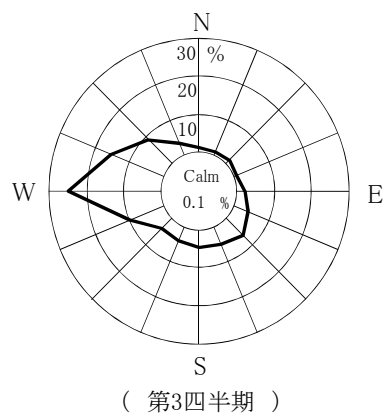
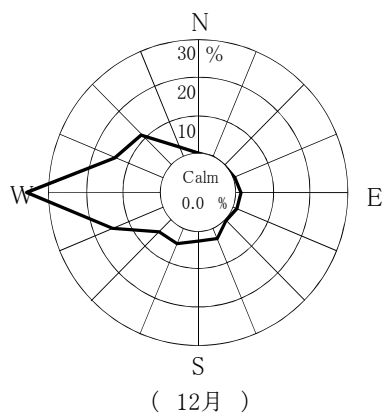
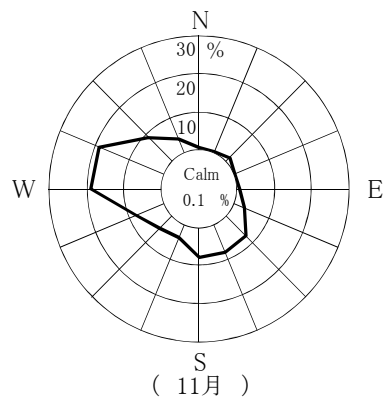
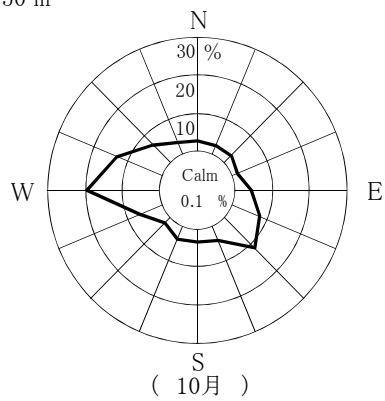


大気安定度と煙の型との模式

④風向配図  
・地上10 m



・地上150 m



Calm:風速0.5 m/sec未満

# 東通原子力発電所

## 1. モニタリングポスト測定結果

① 空間放射線量率

## 2. 排気筒モニタ測定結果

① 全ガンマ線計数率(希ガス)

## 3. 放水口モニタ測定結果

① 全ガンマ線計数率

## 4. 気象観測結果

① 風速

② 降水量

③ 大気安定度

④ 風配図

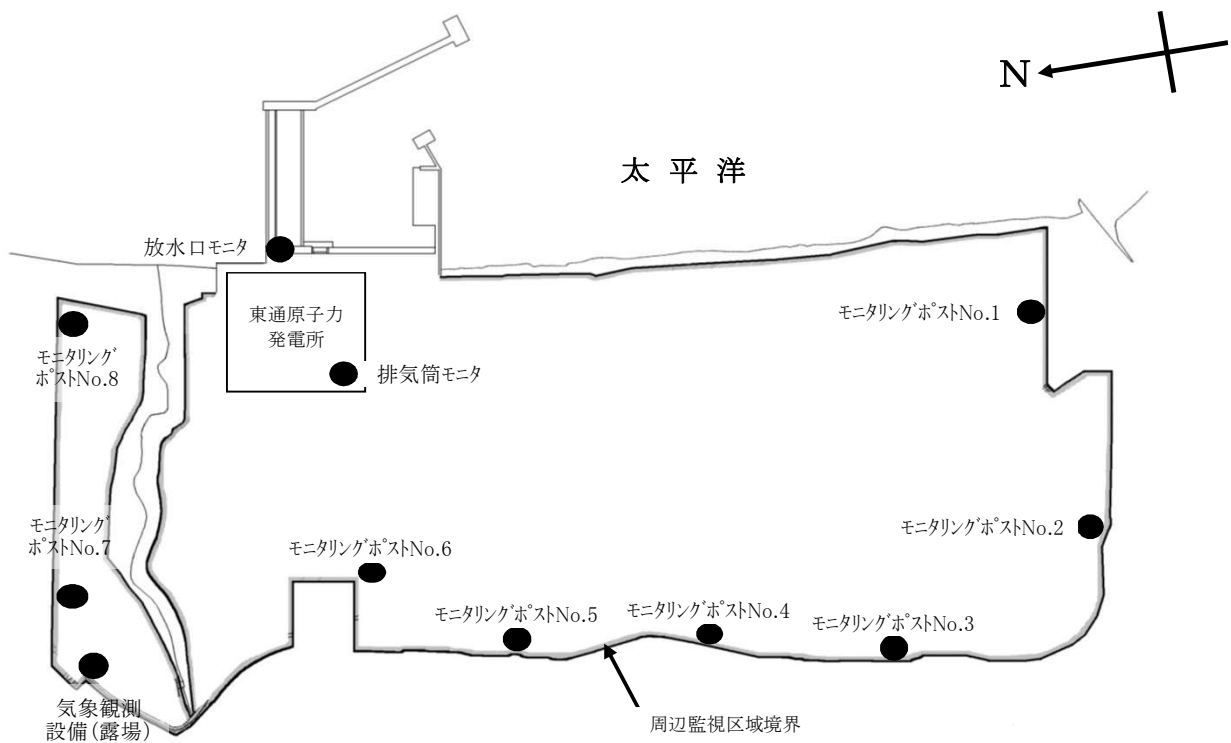


図 モニタリングポスト、排気筒モニタ、放水口モニタ及び気象観測設備配置図

1.モニタリングポスト測定結果 (令和4年10月～12月)

① 空間放射線量率

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
No.1	10月	14	43	12	97	
	11月	15	39	13		
	12月	16	57	10		
	第3四半期	15	57	10		
No.2	10月	17	44	15	88	
	11月	17	36	15		
	12月	18	50	11		
	第3四半期	17	50	11		
No.3	10月	17	46	15	94	
	11月	18	38	15		
	12月	18	59	12		
	第3四半期	17	59	12		
No.4	10月	17	47	15	94	
	11月	18	37	15		
	12月	18	63	12		
	第3四半期	18	63	12		
No.5	10月	16	47	14	108	
	11月	17	35	14		
	12月	17	61	11		
	第3四半期	17	61	11		
No.6	10月	15	48	14	101	
	11月	16	36	14		
	12月	17	59	10		
	第3四半期	16	59	10		
No.7	10月	17	47	15	76	
	11月	17	34	15		
	12月	17	50	12		
	第3四半期	17	50	12		
No.8	10月	12	41	10	92	
	11月	13	34	10		
	12月	14	51	9		
	第3四半期	13	51	9		

- ・2"φ×2"Nal(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型恒温装置付) G(E)関数荷重演算方式
- ・測定値は1時間値。
- ・局舎屋根(地上約4m)設置
- ・測定値は、3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「過去最大値」は、平成16～令和3年度の測定値の最大値。

2.排気筒モニタ測定結果 (令和4年10月～12月)

① 全ガンマ線計数率(希ガス)

(単位:s<sup>-1</sup>)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
排気筒モニタ	10月	3.4	3.8	3.1	4.4	
	11月	3.5	3.8	3.1		
	12月	3.5	3.9	3.1		
	第3四半期	3.5	3.9	3.1		

- ・2”φ×2”NaI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定値は10分値。
- ・「過去最大値」は、平成16～令和3年度の測定値の最大値。

3.放水口モニタ測定結果 (令和4年10月～12月)

① 全ガンマ線計数率

(単位:min<sup>-1</sup>)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
放水口モニタ	10月	190	210	170	460	
	11月	190	200	170		
	12月	190	220	170		
	第3四半期	190	220	170		

- ・2”φ×2”NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)
- ・測定値は10分値。
- ・「過去最大値」は、平成16～令和3年度の測定値の最大値。

4. 気象観測結果 (令和4年10月～12月)

① 風速

測定高さ	測定月	風速 (m/sec)		備考
		平均	最大	
地上10 m	10月	2.1	9.9	
	11月	2.0	7.4	
	12月	2.3	11.0	
	第3四半期	2.1	11.0	
地上100 m	10月	4.2	16.5	
	11月	4.0	12.0	
	12月	4.8	17.1	
	第3四半期	4.3	17.1	

- ・「地上気象観測指針(平成14年 気象庁)」に基づく1時間値。
- ・地上 10 m: 風向風速計[プロペラ型](気象庁検定付)
- ・地上100 m: ドップラーソーダ

② 降水量

測定地点	測定月	降水量(mm)	備考
露 場	10月	113.5	
	11月	82.5	
	12月	165.5	
	第3四半期	361.5	

- ・「地上気象観測指針(平成14年 気象庁)」に基づく1時間値を用いて算出。
- ・雨雪量計[転倒升方式](気象庁検定付)

③ 大気安定度

(単位: 時間 [括弧内は%])

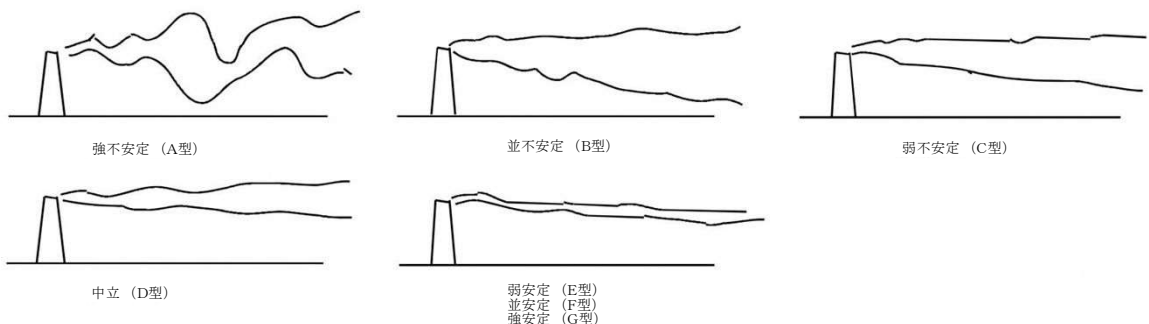
測定地点	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
		露 場	10月	10 (1.4)	52 (7.2)	77 (10.7)	12 (1.7)	20 (2.8)	10 (1.4)	252 (34.9)	52 (7.2)	68 (9.4)	
11月	0 (0.0)		23 (3.2)	66 (9.2)	9 (1.3)	19 (2.7)	13 (1.8)	290 (40.5)	54 (7.5)	71 (9.9)	171 (23.9)	716 (100)	
12月	0 (0.0)		7 (1.0)	41 (5.6)	11 (1.5)	27 (3.7)	2 (0.3)	456 (62.6)	32 (4.4)	40 (5.5)	113 (15.5)	729 (100)	
第3 四半期	10 (0.5)		82 (3.8)	184 (8.5)	32 (1.5)	66 (3.0)	25 (1.2)	998 (46.0)	138 (6.4)	179 (8.3)	454 (20.9)	2168 (100)	

- ・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(平成13年3月 原子力安全委員会)」に基づく1時間値を用いて分類。
- ・風向風速計[プロペラ型](気象庁検定付)、日射計[電気式](気象庁検定付)、放射収支計[風防型]

大気安定度分類表

風速(U) m/s	日射量(T) kW/m <sup>2</sup>				放射収支量(Q) kW/m <sup>2</sup>		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針 (平成13年3月 原子力安全委員会)

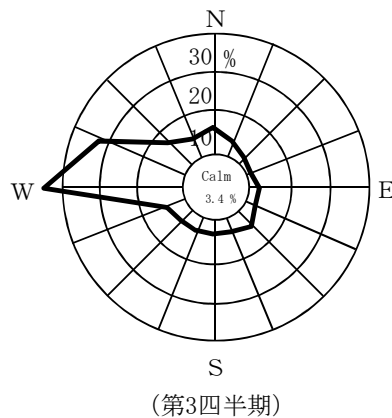
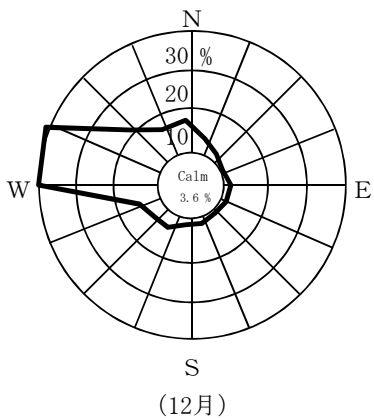
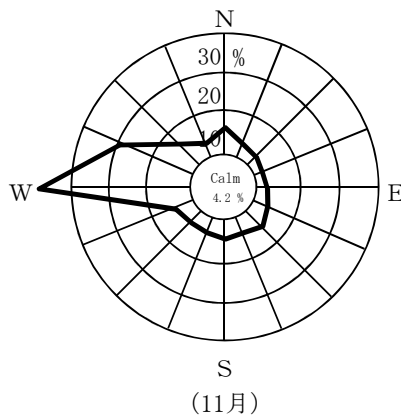
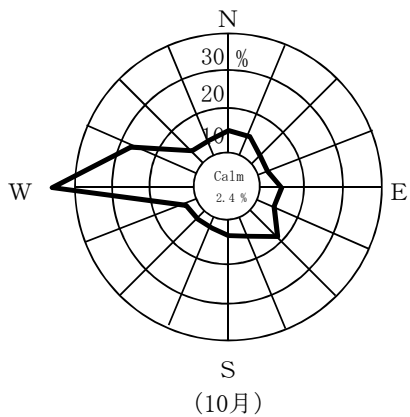


大気安定度と煙の型との模式

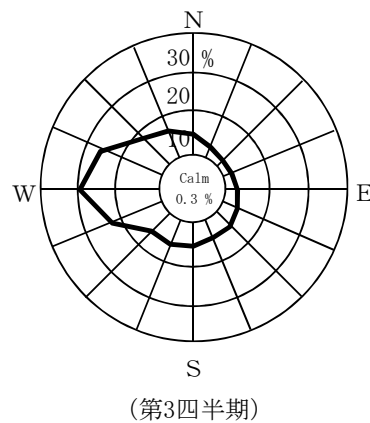
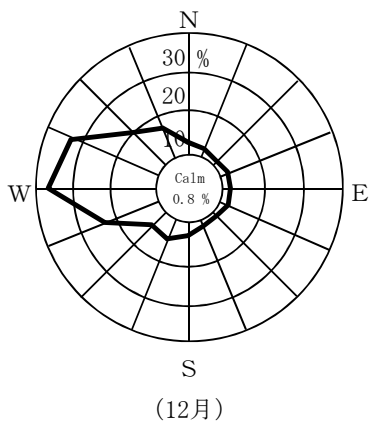
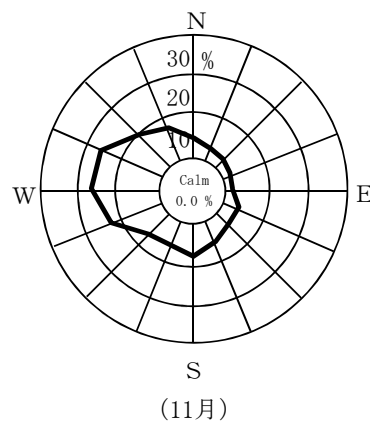
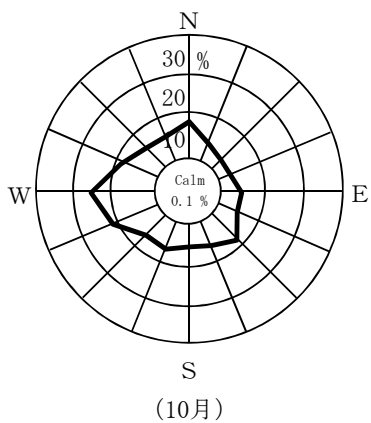


④ 風配図

・地上 10 m



・地上100 m



Calm: 風速0.5 m/sec未満